

令和5年度
(第50期)
事業報告

作成日：令和6年5月25日

自 令和 5年 04月 01日

至 令和 6年 03月 31日

1 全体総括

(1) はじめに

第6期中期経営3か年計画（2022～2024）の二年目の年である令和5年度の当法人事業活動は、中期経営計画に掲げた4つの重点目標、1）多様な人材採用・次世代経営幹部候補育成・中核人材育成と安心・希望を持ち長く働ける職場環境の整備、2）業務の可視化による効率化と介護ロボット・ICT等の活用による業務の省力化、3）利用者・家族・地域住民の健康・生きがいくりと良質高度なチームケア（サービス）の提供、4）適性利益の確保と内部統制の強化を柱に、年度事業計画にそって各事業所・委員会等の活動を中心に積極的に実施され、概ね順調に遂行された。以下にその概要を報告する。

(2) 法人経営

社会福祉法人さつき会は、法人設立後、これまで50年間にわたり、「地域の福祉ニーズに柔軟に 대응する」ことを使命として、「利用者本位」の原則の下、社会福祉事業を経営してきた。

本年度は、新型コロナ5類移行に伴う感染症対策見直しと制限緩和、重度化防止を重視した質の高い介護サービス提供、魅力あるサービスの提供、住民参加型総合事業の推進、介護職員等処遇改善加算を活用した賃金改善、総務課内のジョブローテーション、有給休暇取得率向上と長期休暇取得推進（7～8連休）を重点的に取り組んだ。結果は、職員の定着率の安定、特養・グループホーム・ショートステイ・サ高住の運営安定・稼働率増加が図られた。また、常勤介護職員の離職率は過去最低の4.3%（前期6.8%）となり、北海道平均（14.4%）を大きく下回り、これまでの「人材の確保と育成」「メンタルヘルス」の取り組みの成果が持続できている。

一方、小規模多機能型居宅介護・デイセンターの稼働率低調、ホームヘルパーの人員不足による新規利用者の制限などにより、6か所の事業所が目標収益未達・前年割れを起こすとともに、エネルギー・食材料費等の高騰、人件費増加の影響を受け、サービス活動増減差額は法人全体で前年比21,713千円減少、前々年比40,945千円減少となった。また、積み残した課題も多く、次世代経営幹部候補育成、介護職員・調理員の慢性的な欠員（法的基準は遵守）、人材確保のためのインターンシップ実施は、いずれも未着手・不十分な結果にとどまった為、次年度の重点課題として取り組む所存である。

(3) 施設運営

本年度は、新型コロナの感染予防対策が緩和される中、日常的に施設運営に参加・協力するボランティア受入を段階的に再開するとともに、最新の科学的根拠に基づく多職種協同によるケアの提供に努めた一年であった。

具体的には、さつき祭をはじめとする各施設の行事・アクティビティ活動の再開、介護記録ICT化・介護ロボット導入の推進、全国老協協デイサービス経営改善支援事業参加、施設・在宅における重度化対応・重症化予防、各種社内研修の実施などに取り組んだ。

一方、転倒・転落事故、ノーリフティングケアの研究・試用、データに基づくアウトカム評価、地域住民との協同による災害訓練など、利用者への安全対策、職員の衛生管理、介護の質向上への組織的対応が不十分であるが故の出来事と反省し、次年度の最重点課題となった。

来年度は第6期中期経営3か年計画の最終年の年。中期経営計画に基づき、「高齢者の自立した尊厳ある人間らしい生活を守る」ための福祉サービスの安定的・継続的に提供と、利用者・職員・組織がともに満足できる施設運営に努める。

2 部門別事業実績（概要）

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	サービス活動 増減差額 (千円)
法人本部	理事会・評議員会の運営 内部監査の実施 法人全体の企画・調整 各施設・事業所の経営及び統括 経営企画に関する諸会議の運営 許認可・申請事務 特命事項 職員の教育・研修 実習、研修等の受入・調整 デイ・なごみ・えんの給食管理・実務 ボランティア・家族会の運営 地域包括支援センターへの人材派遣	—	5	理事会 6回(5) 評議員会 2回(1) 監事監査 4回(4) 経営改善会議 33回(39) 全体会議・研修 2回(2) 感染症研修 各事業所 実習受入(実件数) 7件(8) (延べ人数) 48名(22) 健康料理教室 4回(中止) 地域食堂 9回(中止)	△6,509 (△2,621)
総務課	総務・人事・会計の管理・実務 施設運営の企画 施設設備の維持管理 施設内の衛生管理 他部署に属さない業務	—	8	施設整備 非常用照明器具取替等 8件(8) 総事業費 1,843(1,337) 器具備品費 車両・厨房エアコン等 11件(13) 総事業費 10,777(4,019)	—
介護老人福祉施設 事業さつき苑	要介護と認定された、ねたきり、認知症等により在宅での生活が困難な方に対して、施設において「自立」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	50名	38	新規入居者 男2名(1)、女7名(10) 計 9名(11) 退居者 男2名(1)、女7名(11) 計 9名(12) 総延べ入院日数 169日(636日) ベッド稼働率 98.5%(95.7%) 入居待機者 25名(31)	15,784 (16,125)
短期入所生活 介護事業	在宅でねたきり、認知症及び虚弱のおとしりを介護されている家族が、介護疲れ、病気、事故などにより、一時的に介護することができなくなった場合に、一定期間そのおとしりに特別養護老人ホームに入居していただき、家族の介護負担の軽減に努めた。	10名		実利用者数 34名(36) 実件数 140件(142) 延利用者数 2,977名(2,691) 一日平均 8.2名(7.4) ベッド稼働率 81.8%(77.7)	3,211 (1,930) 生きがいショート委託費 519 (707)
通所介護事業 はびねす	在宅のねたきり、認知症及び虚弱等の要介護等認定者に対して、1)自立生活の助長、2)心身機能の維持向上、3)社会的孤立感の解消、4)家族の介護負担の軽減を図るために通所して頂き、入浴・食事・送迎サービス、趣味・レク活動、健康チェック、養護、日常生活の相談・助言を行うことで要介護等状態の悪化予防に努めた。	30名	13	開催日数 309日(309) 実利用者数(月平均) 122名(124) 延利用者数 7,253名(6,660) 生きがいデイ 0(0) 新規利用者 51名(36) 週6日開館、1日平均 23.5名(21.5) 稼働率 78.0%(71.8)	1,810 (2,086)

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	サービス活動 増減差額 (千円)
居宅介護支援事業	在宅でねたきり、認知症及び虚弱のおとしよりが「住み慣れた自宅で最後まで暮らし続けることができるよう」、本人及び家族のニーズに即したケアプランを作成するとともに、ケアプランに基づく各種サービスや社会資源が確保・活用されるよう事業者・関係機関との連絡調整に努めた。	—	6	月平均利用者数 介護 125.6(124.4) 予防 62.1名(64.5) 計 187.7名(188.9) 新規利用 91名(74) 停止者 60名(52) 入院者延べ人数 210名(189)	557 (1,881)
共同生活介護事業 認知症対応型	認知症により自宅での生活が困難な方に対して、グループホームにおいて「自立と尊厳を支え」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう「利用者中心」の生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	18名	18	新規入居者 男0名(1)、女3名(2) 計3名(3) 退居者 男0名(0)、女3名(3) 計3名(3) 総延べ入院日数 11日(48日) ベッド稼働率 99.7%(99.0%) 入居待機者 16名(11)	3,992 (7,543)
小規模多機能型居宅介護事業 なごみの家	在宅の認知症及び虚弱のおとしよりができる限り住み慣れたわが家で暮らしが続けられるように、可能な限り自宅やそれに替わる場所において「普通の暮らし」が営めるような環境と継続的・総合的なケアを提供するため、日々の「通い」を中心に、本人の心身状態と家族の状況に応じて、「訪問」や一時的な「泊まり」を組み合わせ、継続的・総合的なケアの提供に努めた。	(通い) 15名	11	開催日数 365日(365) 平均登録者数 20.6名(22.4) 実利用者数 34名 (32) 延利用者数 3,785(3,575) 新規利用者 14名 (10) 停止者 14名(14) 1日平均 10.3名(9.8) 稼働率 69.2%(65.3%)	611 (834)
		(泊まり) 6名		実利用者数 18名 (18) 延利用者数 1,588名(1,145) 1日平均 4.4名(3.2) 稼働率 72.4%(52.3%)	
		(訪問) 一名		実利用者数 19名(19) 延利用者数 2,846名(3,558) 1日平均 7.8名(9.7)	
介護老人福祉施設事業 ユニット型地域密着型	鷹栖町在住の要介護と認定された、ねたきり、認知症等により在宅での生活が困難な方に対して、施設において「自立」と「生活の質の向上」を図りながら、快適で安心して生活できるよう生活援助・ケアサービスの提供に努めた。	20名	23	新規入居者 男0名(2)、女7名(6) 計7名(8) 退居者 男1名(2)、女5名(7) 計6名(9) 総延べ入院日数 156日(299日) ベッド稼働率 95.4%(92.9%) 入居待機者 17名(7)	△9,669 (△3,647)

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	サービス活動 増減差額 (千円)
小規模多機能型居宅介護事業ぬくもりの家えん	在宅の認知症及び虚弱のおとしよりができる限り住み慣れたわが家で暮らしが続けられるように、可能な限り自宅やそれに替わる場所において「普通の暮らし」が営めるような環境と継続的・総合的なケアを提供するため、日々の「通い」を中心に、本人の心身状態と家族の状況に応じて、「訪問」や一時的な「泊まり」を組み合わせ、継続的・総合的なケアの提供に努めた。	(通い) 15名	10	開催日数 358日(365) 平均登録者数 22.7名(22.3) 実利用者数 27名(31) 延利用者数 3,609名(3,665) 新規利用者 8名(7) 停止者 6名(11) 1日平均 10.0名(10.2) 稼働率 66.8%(65.9)	3,978 (12,658)
		(泊まり) 6名		実利用者数 16名(17) 延利用者数 1,089名(1,146) 1日平均 3.0名(3.2) 稼働率 50.4%(51.6)	
		(訪問) 一名		実利用者数 17名(18) 延利用者数 6,069名(4,083) 1日平均 16.9名(11.2)	
住宅サービス付き高齢者向け	主に虚弱・要支援等の高齢者の早めの住み替えニーズに応じた安心・安全な住宅サービス・相談援助サービス等を提供し、出来る限り長く住み慣れた地域社会で生活を続けていくことの支援に努めた。	18名	11	新規入居者 男1名(1)、女2名(1) 計3名 退居者 男1名(0)、女2名(2) 計3名 月平均入居者数 17.8名 稼働率 98.6%(99.1) 総延べ入院日数 112日(176) 入居待機者(令和4年度3月末) 7名(4)	△5 (75)
訪問介護事業	在宅で虚弱、ねたきり、認知症のおとしより等の要介護等認定者および難病患者の家庭等に対して、自立とより質の高い在宅生活の継続が図られるよう、生活援助、身体介護、相談・助言を主とする生活支援サービスの提供に努めた。	—	10	派遣世帯数(年間) 122世帯(124) 訪問延回数 10,335回(9,980) 活動延時間 8,184時間(8,024) 内、生きがいヘルプ 0(0) 内、難病疾患ヘルプ 0(0) 新規利用者 32名(24)	5,305 (4,204) 生きがいヘルプ 委託費 0(0) 難病患者ヘルプ 委託費 0(0)

事業名 (課)	事業(課)の目的及び内容	利用 定員	職 員 数	実 績	サービス活動 増減差額 (千円)
フィットネス倶楽部コレカラ 総合事業	在宅の主一般高齢者を対象に、虚弱化・要介護の予防を目的に、フィットネス倶楽部コレカラの運営、介護予防体操(あったかすりハビリ体操)の普及、介護予防体操指導士(あったかすりハビリ体操指導士)の養成、介護予防防サポーター(コレカラサポーター)の養成、住民主体の通いの場の立ち上げ、介護予防運動教室の運営に努めた。	—	2	開催日数 307日(296) 登録者数 426名(414) 総延べ利用人数 7,691名 (6,600) 各教室の内訳 サーキット 4,917名 レッドコード教室 2,774名 月平均利用者数 641名(550) 1日平均利用者数 21.6名(22.6) 新規利用者 14名(15) 停止者(利用0回) 260名(257)	
移送サービス事業	心身の障がい・病気により、ねたきりや車いす上で生活されている方が、通院等の理由により外出しなければならず、一般の車両への乗降が難しい時に、さつき苑に配置されている寝台、若しくは車いすのまま乗り込むことができる専用車両で、自宅から目的地までの送迎を行い、利用者の外出支援に努めた。	—	—	実利用者数 9件(3) 延利用件数 75件(18) (内訳…町内 4件、町外 71件)	39 (22) 委託費収入のみ
(生きがいデイサービス) 介護予防事業	在宅の介護認定非該当の虚弱なおとしよりに対して、1)自立生活の助長、2)心身機能の維持向上、3)社会的孤立感の解消を図るため、デイセンター(はびねす)に通所して頂き、入浴・食事・送迎サービス、趣味・レク活動、健康チェック、養護等のサービスを提供し、要介護状態にならないように努めた。	—	—	実利用者数 0名(0) 延利用者数 0名(0) 新規利用者 0名(0)	0 (0) 委託費収入のみ

※1 職員数に施設長は含めず

※2 実績及びサービス活動増減差額欄の()内は前年度実績

令和5年度 業績概況

3 業績の状況

(1) サービス活動収益の目標対比

(単位:円)

事業名	第2次補正予算 (A)	決算 (B)	差異 (B)-(A)	達成率 (B)/(A)	備考
法人本部	20,553,000	16,832,592	▲ 3,720,408	0.0%	
小 計	20,553,000	16,832,592	▲ 3,720,408	0.0%	
介護老人福祉施設事業	226,952,000	226,233,093	▲ 718,907	99.7%	
短期入所生活介護事業	34,118,000	33,665,874	▲ 452,126	98.7%	
小 計	261,070,000	259,898,967	▲ 1,171,033	99.6%	
通所介護事業(はびねす)	61,629,000	61,357,677	▲ 271,323	99.6%	
居宅介護支援事業	28,146,000	27,472,930	▲ 673,070	97.6%	
小 計	89,775,000	88,830,607	▲ 944,393	98.9%	
認知症対応型共同生活介護事業	92,581,000	93,082,433	501,433	100.5%	
小規模多機能型事業(なごみの家)	56,756,000	59,277,504	2,521,504	104.4%	
小 計	149,337,000	152,359,937	3,022,937	102.0%	
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	102,840,000	103,031,799	191,799	100.2%	
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	58,756,000	59,780,924	1,024,924	101.7%	
小 計	161,596,000	162,812,723	1,216,723	100.8%	
サービス付き高齢者向け住宅事業	30,812,000	30,243,387	▲ 568,613	98.2%	
訪問介護事業	37,355,000	37,514,780	159,780	100.4%	
小 計	68,167,000	67,758,167	▲ 408,833	99.4%	
合 計	750,498,000	748,492,993	▲ 2,005,007	99.7%	

(2) サービス活動収益の前年度対比

(単位:円)

事業名	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	差異 (B)-(A)	伸長率 (B)/(A)	備考
法人本部	20,984,420	16,832,592	▲ 4,151,828	0.0%	
小 計	20,984,420	16,832,592	▲ 4,151,828	0.0%	
介護老人福祉施設事業	225,934,207	226,233,093	298,886	100.1%	
短期入所生活介護事業	30,094,822	33,665,874	3,571,052	111.9%	
小 計	256,029,029	259,898,967	3,869,938	101.5%	
通所介護事業(はびねす)	61,702,176	61,357,677	▲ 344,499	99.4%	
居宅介護支援事業	27,395,110	27,472,930	77,820	100.3%	
小 計	89,097,286	88,830,607	▲ 266,679	99.7%	
認知症対応型共同生活介護事業	89,853,838	93,082,433	3,228,595	103.6%	
小規模多機能型事業(なごみの家)	60,248,202	59,277,504	▲ 970,698	98.4%	
小 計	150,102,040	152,359,937	2,257,897	101.5%	
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	101,761,210	103,031,799	1,270,589	101.2%	
小規模多機能型事業(ぬくもりの家えん)	64,886,184	59,780,924	▲ 5,105,260	92.1%	
小 計	166,647,394	162,812,723	▲ 3,834,671	97.7%	
サービス付き高齢者向け住宅事業	28,544,796	30,243,387	1,698,591	106.0%	
訪問介護事業	37,367,916	37,514,780	146,864	100.4%	
小 計	65,912,712	67,758,167	1,845,455	102.8%	
合 計	748,772,881	748,492,993	▲ 279,888	100.0%	

令和5年度 業績概況

(3) サービス活動増減差額の目標対比

(単位:円)

事業名	第2次補正予算 (A)	決算 (B)	差異 (B)-(A)	達成率 (B)/(A)	備考
法人本部	▲ 4,325,000	▲ 6,509,015	▲ 2,184,015	150.5%	
小 計	▲ 4,325,000	▲ 6,509,015	▲ 2,184,015	150.5%	
介護老人福祉施設事業	20,844,000	15,783,747	▲ 5,060,253	75.7%	
短期入所生活介護事業	4,031,000	3,211,213	▲ 819,787	79.7%	
小 計	24,875,000	18,994,960	▲ 5,880,040	76.4%	
通所介護事業(はびねす)	3,832,000	1,810,272	▲ 2,021,728	47.2%	
居宅介護支援事業	1,710,000	556,956	▲ 1,153,044	208.9%	
小 計	5,542,000	2,367,228	▲ 3,174,772	42.7%	
認知症対応型共同生活介護事業	6,799,000	3,991,515	▲ 2,807,485	58.7%	
小規模多機能型事業(なごみの家)	▲ 1,286,000	611,233	1,897,233	-47.5%	
小 計	5,513,000	4,602,748	▲ 910,252	83.5%	
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	4,213,000	▲ 9,669,473	▲ 13,882,473	-229.5%	
小規模多機能型事業(めぐもりの家えん)	5,072,000	3,977,798	▲ 1,094,202	78.4%	
小 計	9,285,000	▲ 5,691,675	▲ 14,976,675	-61.3%	
サービス付き高齢者向け住宅事業	2,571,000	▲ 544,857	▲ 3,115,857	-21.2%	
訪問介護事業	5,292,000	5,304,521	12,521	100.2%	
小 計	7,863,000	4,759,664	▲ 3,103,336	60.5%	
合 計	48,753,000	18,523,910	▲ 30,229,090	38.0%	

(4) サービス活動増減差額の前年度対比

(単位:円)

事業名	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	差異 (B)-(A)	伸長率 (B)/(A)	備考
法人本部	▲ 2,620,724	▲ 6,509,015	▲ 3,888,291	248.4%	
小 計	▲ 2,620,724	▲ 6,509,015	▲ 3,888,291	248.4%	
介護老人福祉施設事業	16,125,113	15,783,747	▲ 341,366	97.9%	
短期入所生活介護事業	1,092,829	3,211,213	2,118,384	293.8%	
小 計	17,217,942	18,994,960	1,777,018	110.3%	
通所介護事業(はびねす)	2,085,752	1,810,272	▲ 275,480	86.8%	
居宅介護支援事業	1,881,259	556,956	▲ 1,324,303	220.4%	
小 計	3,967,011	2,367,228	▲ 1,599,783	59.7%	
認知症対応型共同生活介護事業	7,543,249	3,991,515	▲ 3,551,734	52.9%	
小規模多機能型事業(なごみの家)	834,210	611,233	▲ 222,977	73.3%	
小 計	8,377,459	4,602,748	▲ 3,774,711	54.9%	
ユニット型地域密着型介護老人福祉施設事業	▲ 3,647,915	▲ 9,669,473	▲ 6,021,558	265.1%	
小規模多機能型事業(めぐもりの家えん)	12,658,364	3,977,798	▲ 8,680,566	31.4%	
小 計	9,010,449	▲ 5,691,675	▲ 14,702,124	-63.2%	
サービス付き高齢者向け住宅事業	-132,683	-544,857	▲ 412,174	410.6%	
訪問介護事業	4,204,980	5,304,521	1,099,541	126.1%	
小 計	4,072,297	4,759,664	687,367	116.9%	
合 計	40,024,434	18,523,910	▲ 21,500,524	46.3%	

令和5年度 法人本部事業報告

1. 総括

第6期中期経営3か年計画の2年目となる令和5年度は「職員の成長を実感できる研修の運営」「多様なリクルート活動の展開」「非常災害時でも事業を継続的に運営できる計画と体制づくり」を重点的に取り組んだ。

まず、「職員の成長を実感できる研修の運営」については、基礎介護力向上研修の内容を見直した。研修を担当する職員が、外部研修や自分たちの実践経験をふまえて研修内容を検討し準備を進めた。開催方法は感染状況に左右されないよう、トランスファー研修を除きオンラインと集合のハイブリッド形式で開催したため、計画通り開催することができた。研修講師は課長・主任・専門職が担当するが、講義を担当できる職員が年々増え、伝える力も着実に付いている。

次に「多様なリクルート活動の展開」では、上川・札幌圏域を中心に合わせて14の専門学校・大学・高校に訪問し情報提供・情報交換した。当法人のケアの取り組み、地域づくり、人材育成等の強みを伝え、特に、人材育成・定着率についてはどの訪問先でも興味を引き一定の評価をいただくことができた。広報では「さつき会のホームページを見た」と応募のきっかけとなっており、各事業所が取り組みやイベントの様子を随時発信することが定着しているほか、新たに「さつき会の働きやすさのひみつ」と題し、さつき会の育成制度・福利厚生などについて連載し情報発信した。令和6年度の新規学卒者採用は1名であったが、介護職員の定着率が高く採用予定数が少なかったことは、よい結果であったといえる。ホームページのリニューアル、LINEによる求人申し込みの導入は計画通りすすめられなかったため、次年度の取り組み事項としたい。

また、さつき会としては創立以来初となる天皇陛下からの御下賜金を拝受した。さつき会がすすめてきた個別ケアの推進、地域づくり、人材育成などの取り組みを評価いただいたことは、創立50年を迎えたさつき会の錦上に花を添え職員の励みとなった。

「非常災害時でも事業を継続的に運営できる計画と体制づくり」では、ここ2年の中で4度発生した新型コロナウイルスクラスターの経験より、実践的な計画としてまとめることができた。また、各事業所の実践研修においては、その経験から緊張感を持った研修を展開することができた。鷹栖町は自然災害が起こりにくい立地にあるものの、冬季の雪害による停電などは想定されるため、緊急時連絡の手段、出勤人数によるサービス提供の内容、停電時の暖房の確保や食事提供についてなど対応について計画づくりをすすめた。

令和5年度の経営状況として、当初掲げていた業績管理目標を達成したのは、特養さつき苑、ショートステイさつき苑、グループホーム鷹栖なごみの家、サービス付き高齢者向け住宅ぬくもりの家たかほのみであった。法人全体の事業活動収入は766,615千円(当初予算755,493千円)、事業活動収支差額57,001千円(当初予算43,922千円)、サービス活動増減差額は18,115千円(前年度39,621千円)となった。

2. 次年度に向けて

令和6年度はさつき会第6期中期経営3か年計画の最終年である。高齢者人口がピークを迎える2040年を見据えた令和6年度の介護報酬・介護保険制度改定では地域包括ケアシステムのさらなる推進が求められている。具体的には非常災害時の地域住民との協力体制づくり、在宅における重介護者・医療ニーズの増加に対応できる通所・訪問サービス機能・体制の充実化、入居系事業所では、入退院時に協力医療機関との情報連携体制をつくっていききたい。あわせて、介護職員の業務負担の軽減効率化を図るためにICTや介護ロボットの活用など情報収集し導入・活用に努める。

働きやすく魅力ある職場づくりでは、働きやすい風土、自法人の強みや特性を可視化し企業価値を高めるために認証制度を活用し認証取得を目指す。多様なリクルート活動の

展開では、ホームページのリニューアルと積極的な情報発信、インターンシップの受入や法人独自の職場説明会を実施し人材獲得を目指すほか、外国人採用については、従来の在留介護・技能実習に加え、新制度（育成就労制度）の活用も検討する。

人材育成では、職員の専門性向上と新たな加算取得のために必要な資格取得を推進する。外国人スタッフについては介護福祉士取得を目指す日本語能力を身につける仕組みをつくる。また、法人の持続的発展と次代を担う中核的人材の育成をすすめていく。

令和6年度も各事業所様々な取り組みに着手するが、サービスを必要とする方が増えるなか、団塊世代の利用者はさらに良質多様なサービスが求められる。一方で物価高騰、人件費など事業費・事務費は増加しており、今後も上昇が見込まれる。全体最適を図りながら「良いケア・良い職場・良い経営」の実現に努める。

3. 運営状況・統計資料

(1) 理事会の開催状況

回	期 日	議決事項等	出席者
1	5.5.27 (土) 15:00 ~ 16:00	報告第1号 理事長専決事項について 報告第2号 鷹栖町長への要望書の提出について 議案第1号 令和4年度経過報告並びに事業報告・業績報告について 議案第2号 令和4年度決算報告について 議案第3号 監事監査結果報告について 議案第4号 定時評議員会の招集について 議案第5号 次期役員の選任(案)について	理事6名 監事2名
2	5.6.17 (土) 17:00 ~ 17:20	報告第1号 次期役員の選任について 議案第1号 理事長及び常務理事の選定について 議案第2号 定款 第5章 理事会 第27条(議長)改正について 議案第3号 定款 第7章 公益を目的とする事業 第38条(種別)の改正について 議案第4号 臨時評議員会の招集について	理事5名 監事2名
3	5.8.26 (土) 15:00 ~ 16:00	報告第1号 理事長専決事項について 報告第2号 定款の改正について 議案第1号 令和5年度 第一四半期経過報告について 議案第2号 令和5年度 第一四半期業績・収支報告について 議案第3号 監事監査報告について 議案第4号 運営規程の一部改定について その他 鷹栖町の物価高騰支援対策について	理事6名 監事2名

回	期 日	議決事項等	出席者
4	5.11.25(土) 15:00 ~ 16:00	報告第1号 理事長専決事項について 議案第1号 令和5年度第二四半期経過報告について 議案第2号 令和5年度第二四半期業績・収支報告について 議案第3号 監事監査報告について	理事6名 監事2名
5	6.2.21 (土) 18:30 ~ 19:40	報告第1号 理事長専決事項について 報告第2号 令和5年度第3四半期 経過報告について 報告第3号 令和5年度第3四半期 業績・収支報告について 報告第4号 監事監査結果報告について 報告第5号 令和5年度 社会福祉法人ならびに介護保険施設運営 指導結果について 議案第1号 令和5年度 第1次補正予算(案) について 議案第2号 令和5年度介護職員処遇改善支援手当Ⅱの支給 (案) について その他 特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑改築基本構想 (案) 中間報告	理事5名 監事2名
6	6.3.23(土) 15:00 ~ 16:15	報告第1号 理事長専決事項について 議案第1号 積立金の計上について 議案第2号 決算賞与の支給について 議案第3号 新型コロナウイルス感染対策支援金の支給について 議案第4号 令和5年度介護職員処遇改善支援手当Ⅱの支給につ いて 議案第5号 令和5年度介護支援専門員処遇改善加算手当Ⅱの 支給について 議案第6号 令和5年度 第2次補正予算 (案) について 議案第7号 令和6年度 経営 (事業) 計画並びに当初予算 (案) について 議案第8号 運営規程の改正 (案) について 議案第9号 評議員会の招集について	理事5名 監事2名

(2) 評議員会の開催状況

回	期 日	議決事項等	出席者
1	5.6.17(土) 14:55 ~ 16:25	報告第1号 鷹栖町長への要望書の提出について 議案第1号 次期役員の選任について 議案第2号 令和4年度事業報告について 議案第3号 令和4年度決算報告について (監事監査報告含) 議案第4号 令和5年度経営 (事業) 計画並びに当初予算 (案) について	評議員 6名
2	5.7.19 (水)	(書面開催) 議案第1号 定款の変更 (第27条 議長) について 議案第2号 定款の変更 (第38条 事業種別) について	評議員 7名

(3) 監査等の実施状況

① 監事監査

回	期 日	主な監査実施項目	監査実施者
1	5.5.18(木) 15:00～ 16:10	令和4年度経過報告並びに事業報告について 令和4年度業績報告並びに決算報告について 入居者預り金の管理状況について 総括	監事2名
2	5.8.17(木) 15:00～ 15:45	令和5年度第1四半期業績報告について 令和5年度第1四半期収支報告について 入居者預り金の管理状況について 総括	監事2名
3	5.11.10(金) 14:55～ 15:35	令和5年度第2四半期業績報告について 令和5年度第2四半期収支状況報告について 入居者預り金の管理状況について 総括	監事2名
4	6.2.14(木) 15:00～ 15:40	令和5年度第3四半期業績報告について 令和5年度第3四半期収支状況報告について 入居者預り金の管理状況について 総括	監事2名

(4) 資格保有・取得状況

	介護福祉士	介護支援専門員	看護師	准看護師	保健師	管理栄養士	理学療法士	社会福祉士 (精神保健福祉士)	2級ヘルパー (介護職員初任者研修含む)	社会福祉主事
正職員	62 (+1)	28	7	0	2	2	2	13【2】	31	27
パート職員	16	3	4	2	0	栄養士 1	0	1	20 (+1)	1
計	78	31	11	2	2	3	2	14【2】	51	28

註：令和6年3月31日現在の在籍者 精神保健福祉士は【 】で表示

註：下段（ ）内は令和5年度取得者数

(5) 諸会議

① 経営改善会議

開催日時	目的	出席者	開催実績
毎週水曜日 10:10～11:00	安定的かつ効率的な施設・事業所経営を図るため、経営・運営上における課題や重要事項について協議・決議することを目的とする。	施設長 各部長 各課長	33回

② 財政健全化推進チーム・地域包括ケア推進チーム会議

開催日時	目的	出席者	開催実績
毎月第4水曜日 13:15～15:00	<ul style="list-style-type: none"> 収入と支出のバランスが取れた安定的な財政構造の実現を図るために必要な推進（計画策定・実行・評価）を行う。 新たな地域ケア（地域包括ケア）に取り組むために必要な事業所の運営改善を図る。 	施設長 各部長 各課長 各主任 介護支援 専門員等	8回

③ 衛生委員会

開催日時	目的	出席者	開催実績
毎月第4水曜日 13:00～13:15	<ul style="list-style-type: none"> 職員の健康障害を防止するための基本となるべき対策に関する事 職員の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策に関する事 労働災害の原因調査及び再発防止対策で衛生に係る者に関する事 など 	施設長 各部長 各課長 各主任 介護支援 専門員等	7回

④ 職員全体研修・会議

開催日時	目的	出席者	開催実績
1. 全体研修 新型コロナウイルス感染予防対策のため各事業所単位実施	<p>感染症予防を目的とした研修を開催した。</p> <p>【実施内容】 ()内は対象者・講師</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染対策研修会（対象：全職員～各事業所単位で実施） （講師：谷水さおり・藤川朋恵） <p>法人として職員全体に伝達すべき重要事項がある場合に適時開催する。</p>	全職員	全体研修 各事業所 1回 全体会議 2回
2. 全体会議	<p>開催日時 令和5年6月5日（月）8日（木）18:00～19:10</p> <p>開催場所 サンホールはびねす 1階大ホール</p> <p>開催内容（2回とも同じ内容）</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和5年度経営（事業）計画について（施設長） 介護職員処遇改善について（施設長） 各規程の変更について（総務課長） 給与規程の変更 福祉関連資格取得支援金規程 人材紹介謝礼規程について 交通安全について その他 出席者：2回合計 114名 		

(6) サービス向上発表会

令和6年3月1日(金) 出席者 75名

発表内容

申込事業所	発表テーマ	発表者	結果
鷹栖町介護センター さつき苑	居宅介護支援事業所のトリセツ ～効率・仕組み・チームワークを考える～	ケアマネジャー 山本 裕子	奨励賞
特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑	理想と現実のギャップ ～苦悩と葛藤の中でわたしたちができること～	主任 室橋 綾乃 リーダー 和泉 千春	最優秀賞
小規模多機能ホーム ぬくもりの家えん	想い・願い・その先に・・・	ケアスタッフ 澤田 智恵	第2位
多機能型グループホーム 鷹栖なごみの家	環境が生活を変える ～環境と生きがいがいづくりの両立を目指して～	ケアスタッフ 谷口 尚弘 久保田 大成	第3位
鷹栖町デイサービス センターはびねす	《特別発表》 全国老人福祉施設大会・研究会 議 in 岐阜 奨励賞受賞記念 シン・鷹栖フレイルゼロプロジェクト ～コロナ禍での介護予防の全記録～	理学療法士 大河原 和也	

(7) 広報誌の発行(町内全戸配布)

発行回数	発行部数
年6回発行	各3,000部発行

(8) 実習生等受入状況

実習日程	人数	実習名	実習生所属学校等
6月19日～7月22日	2	介護実習(2年生)	旭川福祉専門学校
8月28日～9月9日	2	介護実習(1年生)	旭川福祉専門学校
8月9日～20日	1	相談援助実習(3年生)	旭川市立大学保健福祉学部 コミュニティ福祉学科
10月4日～5日	26	介護職員初任者研修 介護実習	北海道鷹栖高等学校
11月20日～12月16日	2	介護実習(1年生)	旭川福祉専門学校

2月13日～17日	6	相談援助実習（2年生）	旭川市立大学保健福祉学部 コミュニティ福祉学科
11月28日～2月15日	10	介護現場研修	特別養護老人ホーム長寿園 職員
人 数	49		

(9) 苑外研修参加状況

月	日	研修・会議名	開催地	参加者
4	22～23	全国先端ケア研究会	オンライン	波瀲ほか 21 名
6	3	管理者研修	オンライン	坂林
	14～15	生活支援体制整備事業先進地視察	真狩村	能登、大河原
	15～16	認知症介護実践者研修①	旭川市	角谷
	19～21	全国老施協第 49 回総会 宣告高齢者ケア研究会制度改正・報酬 改定情報交換会	東京都	波瀲
	28	新任介護職員研修	旭川市	岩井、中尾
	29～30	認知症介護実践者研修②	旭川市	角谷
7	18～19	全道市町村社会福祉協議会会長・事務 局長等研修会	札幌市	波瀲
	22	主任介護支援専門員フォローアップ研 修会①	オンライン	坂林
	26	全国老施協北海道ブロック研究大会 CareTex 札幌	札幌市	波瀲、尾上
	26～27	令和5年度全道老人福祉施設研究大会	札幌市	波瀲、大河原
	27～28	全道ホームヘルプサービス研究発表会	札幌市	米澤、深瀬
8	17～18	認知症介護管理者研修	旭川市	角谷
	18	北海道介護福祉士専門員協会上川ブ ロック研修会	旭川市	坂林
	22	安全運転管理者等講習	旭川市	谷
	28～29	学卒者採用に向けての学校訪問	札幌市ほか	尾上
9	9.10.23.24	介護福祉士実習指導者講習会	オンライン	松原
	21	新任介護職員研修	オンライン	田村美

	25	第2回キャラバンメイト養成研修	札幌市	山本正
	30	主任介護支援専門員フォローアップ研修会②	オンライン	坂林
	30	多職種協同による自立支援と重度化対応・重症化予防研修①	オンライン	森、能登、大倉、己上、松原、谷水、室橋、鈴木、渡辺、谷、藤川、大矢
10	3～4	全国老協 令和5年度トップセミナー	東京都	波潟
	19～21	エリート養成講座①(HMS 主催)	東京都	尾上
	21	介護支援専門員 専門研修Ⅱ	旭川市	山本正
	27～29	第10回日本予防理学療法学会学術大会	函館市	大河原
	29～30	全国小規模多機能居宅介護事業者連絡会 全国大会 in 美瑛	美瑛町	波潟、林崎、佐藤晴
	31	令和5年度社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会	旭川市	秋保、志知、谷
11	11	異次元の介護報酬引き上げを陳情する決起大会 in 北海道	札幌市	波潟、谷本、尾上
	11～12	第74回 北海道理学療法士学術大会	恵庭市	大矢、大河原
	18	多職種協同による自立支援と重度化対応・重症化予防研修②	オンライン	森、能登、大倉、己上、松原、谷水、室橋、鈴木、渡辺、谷、藤川、大矢
	16～18	エリート養成講座②(HMS 主催)	東京都	尾上
	28～12/1	第2回 全国老人福祉施設大会・研究会議	岐阜市	波潟、大河原
12	5～6	2040年を見据えた法人経営に係る情報収集とネットワークづくりのため	東京都	波潟
	14～16	エリート養成講座③(HMS 主催)	東京都	尾上
	28～29	全国高齢者ケア研究会 施設長・理事等意見交換	札幌市	波潟
	18～20	エリート養成講座④(HMS 主催)	東京都	尾上

		介護報酬・制度改定セミナー	オンデマンド	谷
1	15～17	エリート養成講座④(HMS 主催)	東京都	尾上
2	14～16	エリート養成講座⑤(HMS 主催)	東京都	尾上
	22	カスタマーハラスメント、介護事故に関するトラブルの対応について	オンライン	尾上
3	14～16	エリート養成講座⑥(HMS 主催)	東京都	尾上
	16	多職種協同による自立支援と重度化対応・重症化予防研修③	オンライン	森、能登、大倉、己上、松原、谷水、室橋、鈴木、渡辺、谷、藤川、大矢
	10	認知症介護基礎研修	オンライン	佐川、成田、本間、ワフユ、イスマ
	24～29	外国人介護福祉人材育成支援協議会 海外学生募集訪問	ベトナム	波瀲
				述べ 115 名

令和5年度 総務課事業報告

1. 総括

令和5年度は課内においてジョブローテーションを実施。それに向けた準備として各担当業務のマニュアルを作成し業務引継を計画的に行った。新たな業務を担当することで総務課職員自身がレベルアップを実感することができた。また、総務課では初めて新規学卒者を迎え入れたが、エルダーが中心となりサポートすることで、当初の予定どおり業務移管することができた。

総務課全体の人員が減少し1人にかかる業務量の増加があるが、課員が業務の効率化・合理化を進め、遅滞することなく業務を推進している。また、令和5年度より労務管理の一部を外部の社会保険労務士に委託し事務員の作業負担の軽減と正確な業務推進を図ることができている。また、労働法の改正への対応などこまめな相談をすることで法令遵守を徹底した。

今年度の総務課の重点目標に「笑顔と優しさ・思いやりのある心のこもった窓口対応に努めます」をあげた。具体的には毎月の総務課会議で接遇研修を実施。ロールプレイをまじえ接遇に関する基本の知識・技術を学び接遇への意識が向上。外部のお客様からは「気持ちのよい接遇」と評価いただくなど成果も見えてきており継続していきたい。

施設環境の整備では、用務員が計画的に環境整備を実施。設備破損や不良箇所が発生時は迅速な対応により影響を最小限にとどめることができている。また大ホールでは整理整頓・緑豊かな環境づくりに努めた。

働きやすい職場環境づくりの推進として、業務用コミュニケーションツールのラインワークスの利活用やパソコンの入替とモニターの大画面化により能率的に業務遂行できる環境を整備した。

職員全体研修の企画では、ストレスチェックのフォローとして社会保険労務士を迎え「セルフマネジメント研修」を実施。ストレスの向き合い方、自身の傾向と自分に合ったストレス対処法を学ぶ機会をつくることができた。

2. 次年度に向けて

令和6年度も「よいケア・よい職場・よい経営をみんなの力で創る」を基本方針とし目標・取り組み事項を設定し業務を推進する。まず「接遇と施設環境の整備向上」では利用者・来客者・職員の満足度を高められるよう、接遇研修を継続する。コロナ感染対策による制限が緩和され環境面でも、過ごしやすく潤いある環境整備をすすめる。「仕事の見える化・効率化の推進」では、令和5年度、各課員が新しい業務を1年間経験した。今年度は各自の業務について、計画的かつ効率的に遂行しさらに精度を高める。TKCやほのぼのシステムなど、まだ活用していない既存システムを活用する。また、出退勤管理と勤怠管理と給与システムの連携や職員管理台帳のシステム化など、同一または連携することで業務効率の向上につながるシステムについて情報収集する。「災害対策・感染症対策の推進」では、業務継続計画（BCP）に基づく研修を実施し実効性ある訓練を行う。

最後に、物価高騰が高止まりするなか、継続的にご利用者に質の高いサービスを提供し、働く職員にとって働きやすい職場環境をつくっていくため、予算管理および消耗品や光熱水費のコスト管理を徹底する。

3. 運営状況・統計資料

(1) 職員の状況

(単位：人)

役職・職種 区分		令和5年度 期 首	令和5年度 期 末	増 減
施設長		1	1	0
副施設長(施設長兼務)		(1)	(1)	0
地域密着型サービス事業部長		1	1	0
施設・在宅サービス事業部長		1	1	0
事務員	正 職 員	4	3	▲1
	嘱 託 職 員	1	0	▲1
生活相談員	正 職 員	3	3	0
	パート職員	1	1	0
ケアマネジャー	正 職 員	5	5	0
出向ケアマネジャー	正 職 員	1	1	0
計画作成担当者	正 職 員	4	4	0
サービス提供責任者	正 職 員	3	3	0
介護員	正 職 員	55	55	0
	パート職員	22	24	2
ケアアシスタント	パート職員	7	5	▲2
ホームヘルパー	正 職 員	4	4	0
	パート職員	5	3	▲2
	登 録	2	2	0
看護職員	正 職 員	5	5	0
	パート職員	6	6	0
理学療法士	正 職 員	2	2	0
管理栄養士	正 職 員	2	2	0
調理員	正 職 員	2	1	▲1
	パート職員	13	11	▲2
運転員	パート職員	2	2	0
用務員	正 職 員	1	1	0
夜間管理当直員	パート職員	7	6	▲1
嘱託医		1	1	0
合 計		161	153	▲8

注) 兼務職員については、主たる職務へカウントする。

(2) 賞与支給状況

時 期	支給月数
	正職員
6月	1.0~1.8
12月	1.5~2.2
計	2.5~4.0

(3) 寄付金関係

(単位：円)

区 分	件 数	総 額	摘 要
寄付金	6	160,000	法人・各事業所運営のため

(4) 環境整備・苑内修繕状況(10万円以上)※

(単位：円)

月	環 境 整 備 ・ 修 繕 名	整備・修繕先	費用	実施施設名
4	なでしこ押入れ水漏れ修理	Eフォレスト	117,700	さつき苑
	浴室トイレ修理	齋藤工業所	256,300	さつき苑
	和ユニットコンセント増設工事	亀谷電設	143,000	なごみの家
5	誘導灯器具取替	五光トータル	559,900	ぬくもりの家えん
7	台所天井クロス張替・床沈み箇所修理	盛永組	195,800	なごみの家
8	屋根修繕工事	盛永組	1,738,000	なごみの家
	漏水事故工事	盛永組	935,000	ぬくもりの家えん
11	廊下・ホールストレッチャー手摺工事	盛永組	176,000	さつき苑
1	消防設備誘導灯交換・ランプ取替	五光トータル防災	270,600	さつき苑
	1階機械室 床暖温水ポンプ取替	大洋設備	275,000	さつき苑
	1階機械室電動三方弁取替	大洋設備	264,000	さつき苑
3	誘導灯ランプ 警告灯点滅取替	五光トータル	143,000	たかほ
合計			5,074,300	

(5) 苦情・意見に対する改善状況

部 署	受付月	苦情・意見の内容	改善状況
本部・総務課		なし	
特養さつき苑	11月	ケアの内容（内出血をつくる）に関わること。特定の職員に対する介護拒否。	本人に謝罪し、ケア方法を統一する。
ショートステイ さつき苑		なし	
デイサービス はびねす	11月	送迎車両の駐車位置に関わること。	ご意見として受け、鷹栖町と情報共有する。
ヘルパーステーション さつき苑		なし	
介護センター さつき苑		なし	
グループホーム なごみの家		なし	
小規模 なごみの家		なし	
特養 ぬくもりの家えん		なし	
小規模 ぬくもりの家えん		なし	
サ高住たかほ		なし	

(6) 総務課外部職員研修

開催年月日	講師	研修会名	参加職員数
令和5年9月11日	税理士 高橋宏司氏	道北地区老施協事務職員研修会	4
令和6年1月30日	公認会計士岩波一泰氏	社会福祉法人会計実務者決算講座	1

(7) 総務課 課内会議・研修

毎月1回開催：業務確認等実施

開催年月日	議題	研修
令和5年4月19日	・各職員の重点業務・事務ローテーション引継状況・情報共有、改善、提案・行事予定・その他	
令和5年5月17日	・各職員の重点業務・事務ローテーション引継状況・情報共有、改善、提案・行事予定・その他	接遇研修①「これからの病院・施設に求められる接遇対応」

令和5年6月21日	・各職員の重点業務・事務ローテーション引継状況・情報共有、改善、提案・行事予定・パソコンの入替について・定期面談について	接遇研修② ・電話のマナー
令和5年7月19日	・各職員の重点業務・事務ローテーション引継状況・情報共有、改善、提案・行事予定・医療物資の配布について・嵐山神輿渡御について	接遇研修② ・電話のマナーその2
令和5年8月18日	・各職員の重点業務・事務ローテーション引継状況・情報共有、改善、提案・行事予定・令和6年度新卒者採用について・シュレッダー入替について・運営指導について	接遇研修③ ・感じのよい動作・おじぎの仕方・来客時のマナー
令和5年9月25日	・各職員の重点業務・事務ローテーション引継状況・情報共有、改善、提案・行事予定・有休取得状況について	接遇研修④「ホスピタリティとサービスの違い」「身だしなみの例」
令和5年10月27日	・各職員の重点業務・事務ローテーション引継状況・情報共有、改善、提案・行事予定・上半期収支状況について・活動計画中間評価	接遇研修⑤「第一印象を決めるのは笑顔」
令和5年11月22日	・各職員の重点業務・事務ローテーション引継状況・情報共有、改善、提案・行事予定・令和6年度部門計画策定会議について	接遇研修⑥「あいさつはコミュニケーションの第1歩」
令和6年2月6日	・各職員の重点業務・事務ローテーション引継状況・情報共有、改善、提案・行事予定・せい服の更新について・介護報酬改定に伴う事務について	接遇研修⑦「医療・介護現場で求められる身だしなみとは」
令和6年3月19日	・各職員の重点業務・事務ローテーション引継状況・情報共有、改善、提案・行事予定・	接遇研修⑧「医療・介護施設に相応しい言葉遣い」

令和5年度 特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑・ショートステイさつき苑 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

令和5年度は昨年度、新型コロナウイルスのクラスターになったことを踏まえ、感染予防にと健康管理に力を入れ取り組んだ。新型コロナウイルスやインフルエンザの集団感染も無く、入院者数14名（入院日数は169日 昨年度636日）と激減し入居者の安定した生活を支えられた。平均年齢が90歳を超え重度化し100歳を越えて入居や、退去者も9名内7名が施設での看取りケアであった。通院は179件（昨年127件）とであった。歯科、整形外科の受診が多かった。

事故昨年度より減少を目指し216件（昨年222件）と6件下回った。事故の詳細は事故件数報告の通りであるが。薬に関する事故が76件と全体の35%を占めている。転倒が49件23%転落26件12%であった。事故は入居者の生活の質を大きく変えてしまうため、どのように防いでいくかは今後の課題である。

食事、栄養についてはできるだけ口から美味しく食べていただけるように、嗜好や食事形態、食事量の調整を、栄養士が毎日全体をラウンドと食事介助に入り、多職と協議しすすめていった。

働きがいと魅力ある職場環境をつくるでは、引き続きリフレッシュ休暇継続、公休での会議出勤減少、会議時間の縮小に努めた。中途退職者は5名（内2名は親の介護、2名転職、1名は中途入職だが体調を崩し退職）いた。

行事、レクリエーション、面会については新型コロナウイルスが5類になり4年振りに家族、地域の皆さまの行うさつき祭を再開できたことは大きな変化であった。面会も途中よりホールでの面会を実施し家族と直接ふれあえる時間を作ることができた。

業務の効率化については、ベッドセンサーの導入や移乗ロボットの活用を広げ介護負担の軽減を図った。また、ケアプランについてもシステムでの作成に移行することができた。

最後に、ショートステイは在宅で限界を迎え施設の入居待ちとなる方のロングステイや入院後自宅に帰ることが困難になった方の利用が多く短期が少なくなっている。長期で受け入れているため、入居に移行したときに次の方を受け入れるまでに時間がかかり稼働がさがってしまった。

令和5年度の業績について、特養事業は目標稼働98.0%に対し、実績98.5%（前年95.7）（目標介護保険収入217,137,000円に対し、実績介護保険収入は225,934,000円）、ショートステイ事業は目標稼働95.0%に対し、実績81.8%（前年73.8）（目標介護保険収入32,732,000円に対し、実績介護保険収入は30,094,000円）と大きく下回った。

2. 展望（次年度に向けて）

令和6年度は、「入居者、職員が和気あいあいの時間をつくる。」をチーム目標とし、できる限り家族との時間や行事、外出を増やし、楽しみのある穏やかな暮らしづくりをつくっていききたい。これと合わせ各職種が専門性を高め連携することで施設で働くことの誇りややりがいを持って仕事ができる職場をつくっていき、人材の定着と育成を図り、有休消化率を上げ職員が休暇をしっかりととりながら良い仕事ができるようにすすめていききたい。

適正収益の確保では、特養事業の目標稼働率は98.0%以上（目標介護保険収入228,870,000円）、ショートステイ事業の目標稼働は90%以上（目標介護保険収入33,941,000円）とする。

また、支出面においては電気代や燃料費の更なる高騰があるため、必要な節約を図り経費節減と、業務の効率化により適正化を図る。

3. 業績報告

(1) ベッド稼働率

(単位：%)

事業名	目標ベッド稼働率(A)	実際ベッド稼働率(B)	達成率 (B)÷(A)×100	前年度ベッド稼働率(C)	伸長率 (B)÷(C)×100
特別養護老人ホーム事業	98.0%	98.5%	100.5%	95.7%	102.9%
短期入所生活介護事業	95.0%	81.8%	86.1%	73.8%	111.1%

(2) 延べ入居者人数

(単位：人)

事業名	目標延べ入居者数(A)	実際延べ入居者数(B)	達成率 (B)÷(A)×100	前年度実際延べ入居者数(C)	伸長率 (B)÷(C)×100
特別養護老人ホーム事業	17,885	17,472	97.6%	17,990	97.1%
短期入所生活介護事業	3,468	2,691	73.8%	3,010	89.4%

(3) 事業収入（介護保険収入・介護予防事業委託費）

(単位：千円)

事業名	目標収入(A)	実際収入(B)	達成率 (B)÷(A)×100	前年度収入(C)	伸長率 (B)÷(C)×100
特別養護老人ホーム事業	217,134	225,934	104.0%	216,761	104.2%
短期入所生活介護事業	32,732	30,094	91.9%	32,552	92.4%

5. 面会状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会者延べ人数(名)	26	31	33	25	35	23	14	38	35	48	44	37	369

※コロナにより面会場所を設けは短時間（15分以内）でしたが、途中からホールでの面会を実施した。

6. 行事

実施日	行事名	内容
4/1	アロマ浴	オイルを使用し、香りを楽しむ。
4/25.26	お花見ドライブ	天候により1日開催になったが気分転換は図る。
7/9	さつき祭	4年振り開催。キッチンカーや三味線の出し物で楽しむ。
7/30	散歩・外出	近所のお店まで出かける。

8/6	御神輿観覧	熱夏フェスタの御神輿を観覧
9/8	焼き肉会	北海道のジンギスカン、焼き鳥を楽しむ。
9/18	敬老の日 (新秋祭)	米寿、長寿のお祝いの方とその家族でのみ実施。 祝膳とデザートを入居者全員に用意する。
10/6	出前会	それぞれが食べたいものを楽しむ。
12/22	寿司会	地元のお寿司屋さんのお寿司を楽しむ。
1/1～3	書き初め 福笑い	各ユニットで書き初め、福笑いを実施する。
1/21	新年会	鍋を各ユニットに総務職員も協力し振る舞う。獅子舞と宝引きを各ユニット回り実施。
2/3	節分	職員と入居者が鬼になり各ユニットを回る。
3/3	ひな祭り	総務職員がひな人形をホールに飾る。各ユニットで雛人形を折り紙で作成し飾る。

7. 会議・研修

月	会議・研修名	内容	担当
7月	食中毒研修	食中毒の原因、予防、冷蔵庫の掃除など	栄養士
8月	救急救命研修	転倒時の対応	主任
8月	PPE研修	正しい感染予防衣の装着	看護師
9月	ターミナルケア研修	看取りについて	看護師
10月	PPE研修・感染症対策研修	インフルエンザ、ノロウイルス対応	看護師
11月	ターミナルケア研修	虐待の定義、マニュアルの確認他	相談員
1月	虐待・身体抑制廃止研修	虐待の定義、マニュアルの確認他	相談員
2月	救急救命研修	緊急時の対応	主任
8～1月	基礎介護研修	食事、排せつ、入浴、移乗、医療、認知症	法人全体

※各ユニット会議、リーダー会議、ナース会議は毎月実施

※リーダー会議： ユニットの利用者の状態把握、職員の状態把握、業務改善、業績について

※各ユニット会議：カンファレンス、褥瘡発症者及びハイリスク者、栄養マネジメント、抑制廃止、本人家族からの苦情要望、安全対策事故の検討を毎回行っている。

※ナース会議： 入退院・通院状況、新規・退去者状況、褥瘡発症者及びハイリスク者、排便コントロール・下剤の見直し、向精神薬の見直し、業務改善を毎回行っている。

令和5年度 鷹栖町デイサービスセンターはびねす 事業報告

1. 総括(今年度の取り組みの成果)

令和5年度は、「安心して利用できるデイサービスづくり」「充実したアクティビティ」に取り組んだ。

「安心して利用できるデイサービスづくり」は、コロナウイルス流行前の制限のない、サービス提供をできるように取り組んだ。まず、入浴制限を解除した。コロナウイルス流行期は、ソーシャルディスタンスを保つため、少人数での入浴を行っていたが、今年度は人数制限をやめて、多くの利用者に入浴のサービスを提供できるようにした。結果、満足度調査で入浴の満足度が前年度を大きく上回った。

次に会食による感染を避けるために、自粛していた食事会を開催。3年ぶりに屋外で集まって、焼肉を行うことができた。長い期間会食を自粛していたこともあり、おいしく、楽しく、利用者と職員全員の思い出に残った。

「充実したアクティビティ」は、ハンドメイドに力をいれ「ハイクオリティ・ハンドメイド」と称し、利用者が作りたくなるような、質の高い作品ができるように企画・実施した。ハンドメイドに参加するため、休みが多かった利用者の参加率が向上。認知症予防と社会的つながりの継続につながった。作品は、地域のサロンに展示する機会をいただき、地域住民に見てもらうことができた。

また、午後のレクリエーションを充実させるため、対応するスタッフを増員した。大勢のスタッフ参加で、普段のレクリエーションがさらに楽しく盛り上がるものとなった。特に勝敗のあるスポーツ系のレクリエーションが人気で、真剣勝負が利用者のやる気と楽しみにつながっている。

利用者推移は、令和5年4月から新規の利用者の伸びが見られたが、8月の酷暑により体調不良の利用者や入院者が増加した。それ以降、新規利用が伸び悩み稼働は低迷した。令和6年に入ってからは、徐々に新規利用が増加。3月には、1日の利用者数が25.9名と伸び、年度当初は22.9名だったのに対して3名の増加があった。新規利用者の数を前年度と比較すると、令和4年度で36名に対し令和5年度51名と約40%増えた。

介護保険収入は令和4年度61,702,176円に対し、令和5年度の介護保険収入は61,357,673円と344,503円の減収となった。

2. 展望(次年度に向けて)

令和6年度は、今後ますます増加していく団塊の世代のデイ利用を見据え、サービスのさらなる充実が必要と考えている。まず初めに、レッドコードの導入・設置を行い、リハビリテーションのプログラムの充実を図る。次に、体力の評価とフィードバックのシステムを取り入れ、リハビリ意欲の向上と効果の見える化を図る。利用者の身体機能を向上させ、健康寿命を延ばしていきたい。もうひとつは、環境の改善と変更。ハンドメイドを行う専用の部屋を作り、集中して作品作りを行える空間を整備する。また、人目を気にせずゆっくりとくつろげる、カフェスペースの整備も行えるよう予定している。

団塊の世代にも受け入れられる、次世代のデイサービス創りに取り組む。

3. 運営状況・統計資料

(1) 業績

<事業収入>

(単位:千円)

目標介護保険収入 (A)	実際介護保険収入 (B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度 介護保険収入(C)	伸長率 (B) / (C) × 100
61,847	61,358	99.2%	61,702	99.4%

<1日の平均利用者数>

目標 平均利用者数(A)	実際 平均利用者数(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度 平均利用者数(C)	伸長率 (B) / (C) × 100
24名	23.5名	97.9%	21.5名	109.3%

(2) 利用者年齢構成

(単位:人)

年齢	男性	女性	合計
60以下	0	1	1
61~64	1	0	1
65~69	0	3	3
70~74	3	6	9
75~79	6	6	12
80~84	6	18	24
85~89	9	21	30
90~94	10	21	31
95以上	1	6	7
合計	36	82	118
平均年齢	85.4歳	86.4歳	86
最低年齢	60	56	
最高年齢	101	97	

(3) 事故発生状況

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	0	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	1	6
転落	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	5
裂傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食・誤食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨折	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因不明の傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
爪切り	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
投薬管理ミス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
破損事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
衣服破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	1	1	0	0	0	1	0	2	4	2	0	2	13

(4) 職員研修

< 苑内研修参加状況 >

日 程	研 修 内 容	参加人数
令和5年		
4月17日	マナーモラル研修	8名
5月22日	救急救命研修	9名
6月19日	食中毒予防研修、感染症対策研修	7名
9月7.14日	トランスファー研修（初級、中級）	8名
10月5.12日	食事ケア研修（初級、中級）	8名
11月9.16日	排泄ケア研修（初級、中級）	8名
12月7.14日	認知症研修（初級、中級）	8名
令和6年		
1月11.18日	医療ケア研修（初級、中級）	8名

< 外部研修参加状況 >

日 程	研 修 名	参加者
令和5年6月27日	デイサービス事業継続等相談支援セミナー	谷・藤川・大矢
7月25日	デイサービス事業継続等相談支援セミナー	谷・藤川・大矢
8月29日	デイサービス事業継続等相談支援セミナー	谷・藤川・大矢
令和6年3月22日	デイサービス事業継続等相談支援セミナー	谷・藤川・大矢

(5) デイサービスセンター会議実施状況

開催月	内 容	参加人数
令和5年 4月 17日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告・環境改善・事故報告・令和5年度行動計画について・マナーモラル研修	8名
5月 22日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価・救命救急講習	9名
6月 19日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価・食中毒予防研修・感染予防研修	7名
7月 24日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・活動計画評価	8名
8月 28日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	6名
9月 25日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	7名
10月 30日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価・感染予防研修	8名
11月 27日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	8名
12月 25日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	8名
令和6年 1月 29日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	8名
2月 26日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価・感染予防研修	8名
3月 25日	各担当活動報告・各会議報告・業務管理報告 環境改善・事故報告・活動計画評価	8名

(6) ボランティア受け入れ状況

①ボランティア受入実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0

②ボランティア協力団体

団体名	活動内容
旭川けん玉サークル	けん玉の体験教室

(7) 行事

日時	行事名	場所	担当者
令和4年 4月18日	ティーカップフラワー	デイホール	岩井
5月16日	北欧インテリア	デイホール	岩井
6月14日	外出ツアー	イオン	谷
6月22日	オイルフラワー	デイホール	岩井
7月26日	たかほカフェ	たかほ あえーる	岩井
8月19日	肉祭り（屋外BBQ）	デイ裏公園	藤川
10月24.30日	紅葉狩り	神居古潭	岩井
11月22日	たかほカフェ	たかほ あえーる	岩井
12月1日	映画観賞会	デイホール	谷・大河原
1月3.4.5日	新年会	デイホール	大矢
2月12.13.14日	バレンタインイベント	デイホール	大矢
3月28日	シマエナガぬいぐるみ	デイホール	岩井

※毎日イベント開催のため一部抜粋とする

4. 苦情の状況

(1) 苦情の内容と対応

受付日	内容	原因	改善状況
令和5年 11月28日	デイの車をデイの正面 玄関前に止めないでほしい。	デイの前に車が止まる ので、町のバスが点字 ブロックの上に駐車し なくてはならない。	鷹栖町役場より。 バス停の位置は変 えない。デイの車 両の影響はない。 問題はないのでそ のまま継続する。

令和5年度 鷹栖町介護センターさつき苑事業報告

1. 総括（今年度の取り組みと成果）

はじめに、事業所全体の運営状況の報告としては、8月2日に介護保険施設等運営指導及びケアプラン点検が行政より実施され助言にて書類、掲示等について修正を行った。

ケアマネジメントに関しては、昨年同様に、1人のスタッフに対して平均40名を（たかほは除外）担当し、重度化対応・カンファレンス・社内・外研修・課内研修にて学び、実践では健康管理（トータルケア・医療連携・各関係機関との連携強化）とQOL向上（生き活きはびねすプランの実施）により地域の皆様の支援を実施した。

業績総括としては、平均190名の登録で目標より3名減で目標達成することができなかった。収益に関しては達成率98.9%、伸長率100%にて、目標を達成することができなかった。また、利用者動向を前年度と比較すると、新規91名（+17名）入院者名210名（+21名）停止者60名（+8名）で、前年度と比較すると新規は増加したが7月からの暑さから体調を崩し入院者が増えた、退院できずに在宅復帰できずに停止者が増えた結果となった。目標人数、収益が届かなかった原因としては、要支援の受け入れが10名減少していたことが要因となっていることを把握できている。

その他、地域貢献活動では3回の出前講座にて介護に関する知識・技術を地域の皆様へ伝えることができた。実習受け入れについては旭川市立大学よりソーシャルワーク実習（Ⅰが6名、Ⅱが1名）を受け入れることができた。

2. 次年度に向けた展望

ケアマネジメント技術に関しては今一度、「自分たちは何のためにマネジメントをしているのか…」をひとりひとりが問い続け、生き活きはびねすプランの実践を最大限取り組んでいく。そのために重度化対応、トータルケアの積極的な介入のマネジメントを実施する。また、昨年度の実績を踏まえ鷹栖町の要支援の委託予算人数65名に対し63～65名を推移する。

また、各研修を継続、特に外部との多職種連携に関する研修について積極的に受講する。研修で学んだ知識・技術を使った実践をカンファレンス・症例検討で具体的に行動できるように進める。

人材育成においては、引き続き職員一人ひとりが成長できるように、ケアマネジャーとして地域課題と向き合い、継続的な支援を展開し、地域住民の皆様に寄り添いながら関係機関と一緒に具体的なケアを実践する。自ら考え行動できるように、個々が持っている力を最大限に発揮し、創造力を高め具体的な実践が展開できるケアマネジャーを育成する。地域において様々な活動が展開している中で、「自分達には何ができるのか・・・」を常に考え、地域創りに貢献できる事業所運営を目指す。

3. 運営状況・統計資料

(1) 収益

<事業収入>

(単位：千円)

目標介護保険収入 (A)	実際介護保険収入 (B)	達成率 (B) / (A) ×100	前年度 介護保険収入 (C)	伸長率 (B) / (C) ×100
27,776,000	27,472,930	98.9%	27,395,110	100%

(2) 居宅サービス利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成12年度	67	77	78	75	77	80	74	82	81	76	78	82	77
平成13年度	78	82	79	87	87	89	88	98	93	92	103	107	90
平成14年度	104	108	106	110	110	116	109	108	102	98	100	107	107
平成15年度	109	110	114	115	118	117	119	121	116	121	125	126	118
平成16年度	142	142	143	145	143	145	148	146	145	148	151	154	146
平成17年度	158	151	155	158	156	155	156	156	157	152	148	145	154
平成18年度	147	143	141	140	135	128	129	129	124	123	113	115	130
平成19年度	114	116	113	104	106	105	106	104	101	104	106	109	107
平成20年度	114	114	112	114	111	105	113	113	113	112	112	113	112
平成21年度	110	96	92	88	89	90	91	86	87	88	92	94	92
平成22年度	96	92	94	97	99	97	101	96	99	88	91	94	95
平成23年度	91	92	99	100	107	104	107	105	104	101	102	107	102
平成24年度	110	113	113	113	116	110	109	118	112	113	110	115	112
平成25年度	115	118	119	114	117	118	118	123	119	115	112	119	117
平成26年度	113	116	116	115	120	116	123	120	118	125	124	120	118
平成27年度	122	120	120	121	123	118	116	116	114	108	117	122	118
平成28年度	126	121	121	123	122	123	123	124	127	127	126	125	124
平成29年度	132	139	139	140	137	135	138	141	141	141	132	128	136
平成30年度	128	130	130	128	132	132	130	129	132	127	126	118	128
平成31年度	128	132	137	142	141	141	142	141	141	139	138	134	138
令和2年度	148	152	163	161	170	180	178	172	171	177	184	181	169
令和3年度	184	187	183	187	178	181	182	183	185	183	175	180	182
令和4年度	190	185	182	188	190	189	198	195	188	185	187	190	188
令和5年度	193	198	197	196	189	189	184	184	179	182	177	191	188

(3) 上記利用者の要介護度分布

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
要支援1	7	9	11	11	13	10	14	13	18	28	32	31	29
要支援2	12	12	11	9	9	11	15	18	19	27	34	28	32
要介護1	42	45	52	57	43	48	53	55	57	59	53	75	70
要介護2	19	24	23	22	32	32	25	22	22	32	32	24	24
要介護3	10	9	10	10	5	7	8	9	7	9	11	11	16
要介護4	9	9	9	7	6	8	7	5	6	8	13	13	9
要介護5	3	3	6	9	8	7	6	9	6	5	4	8	7

※人数は、各年度の平均人数

(4) 苑内・苑外研修参加状況

① 苑内研修

月 日	内 容	講師等	参加者
4月22・23日	先端ケア研修	高齢者ケア研修会	5
6月25日	在宅ケアチーム勉強会	高齢者ケア研修会	5
9月20日	セルフマネジメント研修	施設長	1
9月7・14日	基礎介護力研修初級（トランスファー）	大矢・大河原	2
10月5・12日	基礎介護力研修初級・中級（食事）	能登	5
11月9・16日	基礎介護力研修初級・中級（排泄）	室橋	5
12月7・14日	基礎介護力研修初級・中級（認知症ケア）	松原	4
1月18日	基礎介護力研修初級・中級（医療）	谷水	5
2月8日	ストレスケアマネジメント研修	社会保険労務士倉雅彦	1
3月10日	在宅ケアチーム勉強会	高齢者ケア研修会	5

② 苑外研修

月 日	内 容	主催	参加者
7月4日	管理者研修 ～BCP策定～	北海道介護支援専門員協会	1
9月13日	主任CMフォローアップ研修	北海道総合研究調査会	1
9月14日	居宅合同事例研修会	誠徳園・鷹栖町居宅	5
9月20日	サービス担当会議とりせつ	第一法規株式会社	2
9月30日	主任CMフォローアップ研修	北海道総合研究調査会	1
10月12日	福祉用具展示会～マルベリー～	株式会社マルベリー	5
10月13日	サービス担当会議とりせつ	第一法規株式会社	1
11月21日	鷹栖圏域事例検討会	鷹栖町	2
12月22日	11 圏域包括	旭川市・旭川地域包括	1
2月9日	旭川市居宅介護支援専門員合同研修会	旭川市居宅CM連絡協議会	2
2月15日	居宅合同事例研修会	誠徳園・鷹栖町居宅	5
2月16日	介護保険改正研修	介護労働安定センター	1
3月8日	在宅医療・介護連携推進に関する研修会	旭川市	2

3月26日	鷹栖町基幹相談支援センター研修会	鷹栖町	5
-------	------------------	-----	---

(5) ケアマネ会議内容

月 日	内 容
4月4日	活動計画確認 情報共有
4月11日	ケアマネジメント研修 ～成年後見人制度～
4月18日	事例検討
4月25日	ミーティング ～適切なケアマネジメント手法について～
5月2日	活動計画確認 情報共有
5月9日	ケアマネジメントに関する研修 ～災害対策～
5月16日	事例検討
5月23日	ミーティング
5月31日	地域における社会資源の状況
6月6日	活動計画確認 情報共有
6月13日	ケアマネジメント研修 ～ケアプラン作成～
6月20日	事例検討
6月27日	ミーティング
7月4日	活動計画確認 情報共有
7月11日	ケアマネジメントに関する研修～個人情報保護～
7月18日	事例検討
7月25日	ミーティング ～介護保険外サービスの利用について～
8月1日	活動計画確認 情報共有
8月9日	ケアマネジメントに関する研修 ～ハラスメント～
8月16日	情報共有
8月22日	ミーティング ～介護支援専門員が考える今後の”目指すべき介護支援専門員像”～
8月29日	重度化対応研修
9月6日	活動計画確認 情報共有
9月12日	ケアマネジメント研修 ～認知症～
9月19日	事例検討
9月27日	ミーティング
10月3日	活動計画確認 情報共有
10月10日	感染症研修
10月17日	事例検討
10月24日	ミーティング
10月31日	ミーティング
11月7日	活動計画確認 情報共有
11月14日	PPE研修
11月21日	事例検討
11月28日	ミーティング
12月5日	活動計画確認 情報共有
12月12日	ケアマネジメント研修 ～介護保険法～
12月19日	事例検討
12月26日	情報共有

1月9日	活動計画確認 情報共有
1月16日	ケアマネジメント研修 ～アセスメント～
1月23日	事例検討
1月30日	ミーティング会議
2月6日	活動計画、情報共有
2月13日	ケアマネジメント研修 ～スーパービジョン～
2月20日	ミーティング
2月27日	情報共有
3月5日	活動計画確認 情報共有
3月13日	情報共有
3月20日	ケアマネジメント研修 ～令和6年度介護報酬改定について～
3月28日	ミーティング

(6) 出前講座

月 日	内 容	講 師
6月28日	認知症サポーター養成講座 鷹栖高校	佐藤
1月16日	認知症サポーター養成講座 あえーる	坂林
3月8日	介護の入門的研修 鷹栖高校	佐々木

令和5年度 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家事業報告

1. 総括

令和5年度は昨年同様『知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づく介護サービスの提供』『主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める』『職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる』『業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益の確保する』の4つの重点目標をかかげ取り組んだ。

1) 「知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づく介護サービスの提供」

毎月カンファレンスを実施しケアの見直しと統一を図ると共に、困難ケースにおいても状態悪化の予防に努めた。事故件数については、事故後の分析や再発防止に努めたが前年度より14件増加した。中でも単独歩行時の転倒事故が約半数を占めた。

食事については、ソフト食の提供、病状や状態に合わせて栄養補助食品との併用、食事の一部をミキサー食で提供するなど、食事形態を早期に見極めることによって、嚥下や咀嚼が困難な方が増加した中でも食事摂取量を維持することができた。

疾病の管理では、日々の体調管理をはじめ、入居者の重度化にとめない気になる事があれば早めに医療機関への相談をした。既往の再発で入院者1名、早期の段階で入院治療を行った結果、入院日数は11日と前年度より37日減らすことができた。

感染症対応では、引き続き新型コロナウイルス感染予防の強化に努めた。手洗い、うがいの基本をはじめ、ワクチン接種の実施、手すりドアノブ等の消毒や1時間毎の換気を徹底した。感染状況に合わせて面会中止、面会制限（玄関での面会・窓越し面会）を実施した。職員の防護服着脱の実技訓練や抗原キットでの検査についても定期的実施した。また、個々の私生活においても決められた感染予防対策の徹底と強化に努めた。結果、感染症・集団感染共にゼロを維持することができた。

2) 「主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める」

計画的に介護過程の展開（アセスメント、計画、実施、評価）の取り組みを実施し、今年度はADL（日常生活動作）の維持向上に特化した取り組みに重点を置き取り組むことができた。

3) 「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」

定期的面談を実施することで不安や悩みの軽減を図ることができた。有給休暇取得については、日数のばらつきを改善することはできなかったが全職員が5日以上有給取得と常勤職員全員が連続休暇（8日間）を取得することで、リフレッシュを図ることができた。

4) 「業務の効率化と適正利益の確保」

電子システムへ移行できるものは積極的に実施。必要に応じてオペレーションシートの見直し業務分担を明確にしたことで業務の効率化が図れた。

適正利益の確保については、入院に伴う空床延べ日数が11日。看取り対応者3名。退居から新規入居までの空床延べ日数については、少しでも迅速な入居に繋げることができるよう小規模多機能ホームと連携を図った結果11日。年間平均稼働率は、99.7%と目標稼働率の98%を上回ることができた。

2. 次年度に向けての展望

令和6年度は、引き続き同様の重点目標をかかげ確実に実施できるようより具体的な計画を立て取り組む。

ケアについては、体調変化を早期に発見できるようダブルチェック、カンファレンスを更に強化し入居者の更なる重度化に対応できる力をつける。気になる事があれば早めに医療機関へ相談し医療連携の強化に努める。

引き続き ICT・IOT 化の活用を通じてケアの質の向上を図り、職員の業務負担軽減と更なる業務の効率化を図る。常勤職員限定ではあるが互いのユニット勤務を継続することでチームワークの強化を図る。連続休暇についても8日間の取得を計画する。

コロナ禍で数々の制限があったが感染症法上の位置づけが5類になり、一年が経過した。今後も制限を少しずつ緩和しご家族との交流も多く取り入れ潤いのある暮らしに少しでも近づくことで入居者の更なる QOL の向上を図る。

入院延べ日数30日、目標稼働率98%を達成し適正利益の確保を図る。

3. 運営状況・統計資料

(1) 稼働状況

目標ベッド稼働率(A)	実際ベッド稼働率(B)	達成率 (B) / (A) × 100	前年度ベッド稼働率(C)
98.0%	99.7%	101.7%	99.0%

(2) グループホーム会議開催状況

日 時	議 題 内 容
4月18日	R4年度活動計画最終評価報告・R5年度事業計画、活動計画説明 ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会・事故報告・給食関係・介護過程の展開（評価と発表）・予防衣着脱訓練
5月16日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会 事故報告書・給食関係・介護過程の展開（評価と発表）・予防衣着脱訓練
6月20日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会 事故報告・介護過程の展開（評価と発表）・2ユニット勤務の状況報告 予防衣着脱訓練
7月18日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会 事故報告・介護過程の展開（評価と発表）・熱夏フェスタ参加について 予防衣着脱訓練
8月22日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会 給食関係（玄米と押し麦終了）・介護過程の展開（評価と発表） 実習生の受入れについて・予防衣着脱訓練
9月19日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者身体拘束廃止委員会・ 事故報告・給食関係・介護過程の展開（評価と発表）・予防衣着脱訓練
10月17日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会 事故報告・行事・給食関係・キックオフミーティング・予防衣着脱訓練
11月21日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会 事故報告・行事・給食関係・新規入居者について・勤務時間管理について 予防衣着脱訓練
12月19日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会 事故報告・行事・給食関係・活動計画中間評価について・予防衣着脱訓練
1月16日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会 事故報告・行事・給食関係・ストレスマネジメント研修について・ 予防衣着脱訓練・その他

2月20日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会 事故報告・給食関係・R6年度予算について・予防衣着脱訓練
3月19日	ケースカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・身体拘束廃止委員会 事故報告・給食関係・開設20周年式典について・予防衣着脱訓練

(3) 環境整備他

日 時	内 容	ユニット	業 者
4月下旬	机 ・ 椅子	和・洋	アイリスチトセ (株)
4月下旬	ポジショニングクッション	和	合同会社セカンドライフ
4月下旬	網戸取替	洋	(有) 平和建具
4月下旬	コードレス掃除機部品交換 (フィルター)	和・洋	(株) ヤマダデンキ
5月上旬	コンセント増設工事	和	(株) 亀谷電設
5月下旬	移乗サポートロボットバッテリー	和	(株) マルベリー
5月下旬	クライニング車椅子	和	合同会社セカンドライフ
5月下旬	歩行器	洋	合同会社セカンドライフ
6月中旬	食器 (小鉢・ガラス器)	和・洋	(株) フジマック
6月中旬	マジックブレード	和・洋	(株) ヤマダデンキ
6月下旬	浴槽滑り止めマット	洋	合同会社セカンドライフ
6月下旬	オープンレンジ	和	(株) ヤマダデンキ
7月上旬	消火器、誘導灯器具取替	全体	五光トータル防災
8月中旬	加湿器部品交換 (ユニット交換)	和・洋	(株) ヤマダデンキ
8月上旬	ホシザキ冷凍庫保守点検	全体	ホシザキ北海道(株)
8月中旬	電気ポット	和・洋	(株) ヤマダデンキ
8月下旬	回転椅子	事務所	アイリスチトセ (株)
9月上旬	やわらか補高便座	洋	合同会社セカンドライフ
9月上旬	清掃床ワックス塗布	和・洋	旭川ヒューマンサービスセンター
9月中旬	レンジフード清掃	和・洋	旭川ヒューマンサービスセンター
9月下旬	洗濯機	洋	(株) ヤマダデンキ
9月下旬	トイレ便座	和	(株) 齋藤工業所
10月上旬	車イス	洋	合同会社セカンドライフ
10月上旬	暖房ボイラー不凍液補充	洋	大洋設備(株)
11月上旬	食洗機部品交換	洋	パナソニックマーケティング
11月下旬	漏水調査及び応急処置	洋	(株) 齋藤工業所
12月上旬	ロータンク修繕	和・洋	(株) 齋藤工業所

1 2月下旬	浴室リモコンパネル	洋	(有) タカクラボイラーサービス
1 2月下旬	マジックブレット	和・洋	(株) ヤマダデンキ
1月上旬	給水管漏水修理	洋	(株) 齋藤工業所
1月下旬	誘導灯器具取替	全体	五光トータル防災
1月下旬	衣類乾燥機、スタンド	和・洋	(株) ヤマダデンキ
1月下旬	洗濯機	和	(株) ヤマダデンキ
1月中旬	灯油管凍結解氷作業	全体	大洋設備(株)
1月下旬	暖房ポンプ不凍液漏れ修理	和	大洋設備(株)
3月中旬	消火栓呼水槽内ボールタップ交換	全体	五光トータル防災

(4) ボランティア状況

新型コロナウイルス感染予防のため外部ボランティア受入を原則中止。

(5) 行事活動状況

日 時	行 事 名	場 所
5月3～5日	菖蒲湯	なごみの家
5月13日	お花見ドライブ	パレットヒルズ
7月9日	さつき祭	さつき苑
8月11日	夏祭り	なごみの家
10月24日	紅葉狩り	パレットヒルズ 丸山調整池
12月20～22日	ゆず湯	なごみの家
12月25日	クリスマス会	なごみの家
12月28日	忘年会	なごみの家
2月3日	節分	なごみの家
3月3日	ひな祭り	なごみの家

令和5年度 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家事業報告

1. 総括

令和5年度は昨年同様『知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づく介護サービスの提供』『主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める』『職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる』『業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益を確保する』の4つの重点目標をかかげ取り組んだ。

(1) 「知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づくサービスの提供」

毎月の小規模会議、リーダー会議でカンファレンスを実施し、ケアの見直しと統一したケアに努めた。困難ケースにおいては、随時ケースカンファレンスを行い、ケア方針を立て、多職種協働で本人の状態の維持・向上に繋げるよう努め、同時にご家族への報告や助言、協力依頼にも尽力した。

事故件数は6件、昨年度からは1件減少はしたが、薬に関する事故が2件、再発防止に取り組んできたが、なくすことができなかった。

食事については、嗜好を取り入れた季節感のある食事や、好きなものを選んでいただく出前、見た目でも楽しめるおやつを提供することで利用者を楽しんでいた。

食中毒・感染症予防対策、新型コロナウイルス感染症予防対策に関して、昨年に引き続き、手洗いうがいの徹底、室温・湿度管理や換気、消毒、ご利用者、ご家族の協力のもと、送迎時には健康観察記録の確認、手指消毒と車輛・物品使用後の消毒を継続。職員個々の私生活でも感染予防対策の継続をすることで、集団感染を防ぐことができた。

疾病の管理では、健康管理、病状・状況把握等が十分とは言えず、医療機関との連携にも努めたが、長期入院により5名が登録終了となった。

(2) 「主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める」

各担当利用者のADL（日常生活動作）とQOL（生活の質）の向上を図るための「介護過程の展開」については計画・実施できたスタッフもいたが、全職員の取り組みには至らなかった。

学習療法に関しては、新規登録の2名が取り組み開始し、年度末で4名実施している。昨年に引き続き、学習療法サポーターの協力は中止のまま、職員のみでの学習支援であった。

アクティビティについては、新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、感染予防をしながら少人数での外出行事を実施できた。また、引き続きドライブ・変わり湯・ペーパークラフトなどの製作にも力を入れ利用者の満足度を高めることができた。

(3) 「職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる」

退職者ゼロを目指し、不安解消や目標設定等、定期面談の継続はしていたが、ケア

アシスタントの1名が退職となった。

計画的連続休暇については、常勤職員全員が8日間取得することができ、リフレッシュを図ることができた。有給休暇については非常勤職員も含め5日以上取得することができた。チーム目標を利用者・職員ともに「楽しみのある生活」とし、日々のレクリエーションや、行事など楽しんでいただけるようチームで取り組んだ。

(4)「業務の標準化・見える化・効率化を図り適正利益を確保する」

ケアアシスタントの退職・休職があり、業務分担できていた間接業務を再び介護職員が行うこととなったが、業務内容の見直し・検討・変更を適宜行い、日々の業務担当を日誌に記入するなど、振り分けすることで、効率良く業務をこなすことができている。

今年度新規登録者14名。登録終了者は14名（内長期入院により6名、特養入居2名、グループホーム入居3名、サービスの移行1名、死去1名、休止1名）平均登録者数20.6名、目標登録人数には届かず、介護保険収入についても目標を大きく下回った。

2. 次年度に向けての展望

令和6年度はコロナ禍で実施することができなかった活動内容を、確実に実施できるようより具体的な計画を立て取り組む。

働きやすい職場づくりのため、ケアの質の向上を図り、職員の業務負担を減らし業務の効率化を図る。さらにリフレッシュ休暇（8連休）の取得を継続する。

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』を職場目標にかかげ「介護過程の展開」を職員一人ひとりが自ら進んで取り組み、職員・利用者共に、楽しみ・やりがい・達成感を感じられる暮らしづくりを実践する。

また、利用者の在宅生活ができる限り継続できるよう、生活状況・身体状況の確認、介護者の介護力の把握と介護力向上のための助言・指導を行い、多職種協働での健康状態の把握・悪化の予測をし、医療連携を密に行うことで入院による登録終了者を減らし、平均登録者数23.5名を目標に掲げ、適正利益の確保を図る。

地域の中での小規模多機能居宅介護の在り方、役割を踏まえ地域で必要とされる拠点を目指す。

3. 運営状況・統計資料

(1) 小規模多機能ホーム会議開催状況

月 日	議 題 内 容	出席者
4月18日	(オンライン併用会議) ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事(桜湯・菖蒲湯)について・介護過程の展開、訪問の入力について・令和5年度小規模目標について・令和5年度事業計画と活動計画について・満足度調査の結果について・学習療法月次検討会	8名
5月16日	(オンライン併用会議) ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・行事(春の一斉清掃)について・面会について・花、畑の水やり担当について・リフレッシュ休暇について・浴室ボイラーについて・学習療法月次検討会	8名
6月20日	(オンライン併用会議) ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・抗原キッドについて・節電のご協力について・学習療法月次検討会	7名
7月18日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・利用者担当について・節電のご協力について・エアコン使用について・学習療法月次検討会・ミニ勉強会(トランスファー)	8名
8月22日	ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事(ミント湯)に関して・利用者様担当について・業務関係について・ロッカーの鍵について・検査キッドについて・ほのぼの記録について・健康チェックについて・学習療法月次検討会・キックオフミーティング	8名
9月19日	(オンライン併用会議) ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・学習療法月次検討会	5名
10月17日	(オンライン併用会議) ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・行事(外出・出前・りんご湯)について・忘年会のプレゼントについて・学習療法月次検討会	6名
11月21日	(オンライン併用会議) ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・行事(出前・季節湯、変わり湯・クリスマス・忘年会)について・中間評価に関して・大掃除について・雪かきについて・加湿器について・学習療法月次検討会	7名
12月19日	(オンライン併用会議) ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事(クリスマス・忘年会・季節湯、変わり湯・年末年始・中華まん)について・大掃除について・車両について・遅番オペレーションについて・利用者様担当、業務担当	7名

	について・ほのぼの入力について・介護過程の展開・言葉使いについて・学習療法月次検討会	
1月16日	(オンライン併用会議) ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・行事(変わり湯・中華まん・節分)について・モニタリングについて・新規利用者様対応について・学習療法月次検討会	8名
2月20日	(オンライン併用会議) ケースカンファレンス・新規利用予定者について・抑制廃止の取り組み・行事(変わり湯・ひな祭り)について・次年度利用者様誕生日プレゼントについて・センサーについて・利用者様午前中の過ごし方について・学習療法月次検討会	9名
3月19日	(オンライン併用会議) ケースカンファレンス・抑制廃止の取り組み・事故報告と今後の対応・行事(変わり湯)について・令和6年度月のレク、行事担当について・介護過程の展開について・学習療法月次検討会	8名

(2) 小規模多機能ホーム事故状況

月 日	内 容	結 果
4月 2日	誤投薬(79才・女性)	特変なし
5月29日	転倒(90才・女性)	嘔吐、「頭を打った」と話され、緊急外来受診。検査結果、異常なし
8月 2日	転倒(91才・女性)	特変なし
11月23日	転倒(90才・女性)	右額にぶつけた傷あり、その後異常なし
3月10日	未服薬(79才・女性)	特変なし
3月28日	転倒(87才・男性)	特変なし

(3) 小規模多機能ホーム行事活動報告

日 時	行 事 名	場 所
4月24日 ～5月3日	桜湯	なごみの家
4月29日	花見・ドライブ	花咲公園 護国神社
5月2日	花見・ドライブ	パレットヒルズ
5月3日	花見・ドライブ	鷹栖神社 療育園
5月3日～4日	外注おやつ	なごみの家
5月4日	ドライブ	鷹栖町内(北野地区)

5月4日～6日	菖蒲湯	なごみの家
6月27日～30日	バラ湯	なごみの家
7月25日～31日	ラベンダー湯	なごみの家
8月6日	熱夏フェスタ（御神輿見学）	なごみの家
8月24日～27日	ミント湯	なごみの家
9月16日～17日	外注おやつ	なごみの家
9月18日	阿久津様米寿+敬老写真	なごみの家
10月23日～26日	りんご湯	なごみの家
10月26日	外出（カフェ）	Café いちやりば
10月27日	外出（カフェ）	Café いちやりば
10月31日	外出（カフェ）	Café いちやりば
11月1日	外出（カフェ）	Café いちやりば
11月2日	外出（カフェ）	Café いちやりば
11月8日	外出（カフェ）	Café いちやりば
11月20日～23日	みかん湯	なごみの家
11月28日	出前	なごみの家
12月22日～26日	柚子湯	なごみの家
12月23日～24日	クリスマス（ケーキ）	なごみの家
12月26日	忘年会	なごみの家
12月27日～31日	ご当地温泉の湯	なごみの家
1月15日～21日	変わり湯（大人のバスクリン）	なごみの家
1月25日	中華まんの日	なごみの家
2月3日	節分 豆まき	なごみの家
2月26日～29日	ばら湯	なごみの家
3月22日～28日	金木犀の湯	なごみの家

令和5年度 地域密着型特別養護老人ホーム めくもりの家えん 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

令和5年度は、昨年同様「良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る」を基本方針として、(1)多職種協同でケアを提供し、健康で豊かな暮らしをつくる、(2)感染症や災害対策などの予防・防災意識を高める、(3)自主性・主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める、(4)チームワークの向上とICTの活用を通じて職場環境の改善を図る、(5)適正収益の確保の5つを重点目標に取り組みを行った。

(1)「多職種協同でケアを提供し、健康で豊かな暮らしをつくる」

日々の健康管理を適切に行うため、ケアチェックとカンファレンスの徹底、食事形態や必要水分量の見直し、定期検査（血液）、定期健康診断を実施し、ご入居者の病気の悪化を防ぎ、予防的なケアを実践するよう努めた。

入院については、入院延べ日数 50 日以内を目標として取り組みを実施した。その結果、今年度は入院者 6 名・入院延べ日数 156 日と目標には至らなかったが令和4年度と比較すると入院延べ日数が 143 日間減少がみられた。

口腔ケアについては、4 月（基礎編）と 10 月（応用編）に歯科衛生士を講師に招いて研修を実施した。身体の健康を保つためには、毎日の口腔ケアが必須であり基本的なケアでもあることを職員全体で再認識することができた。

また、5 月からは月 2 回、歯科衛生士による口腔ケアを全ての入居者に実施することで早期発見、早期対応をすることができた。

(2)「感染症や災害対策などの予防・防災意識を高める」

感染症予防に努めるため、全スタッフの手洗い、うがい、手指消毒、毎日の検温、抗原検査の実施をしていたが、1 月にスタッフ・ご入居者がコロナウイルスに感染し、クラスターが発生。面会の中止、勤務体制の一時変更、食事の一部外注などの対応をとった。

約 1 か月間続いたクラスター期間中、幸いにも感染したご入居者は全員軽症で、入院されることなく終息することができた。

(3)「自主性・主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める」

各担当入居者の穏やかで楽しみある暮らしづくりのために、7 ケースの介護過程の展開に取り組むことができた。介護過程の展開内容は、尿路感染を予防するために排泄コントロールを計画したケアや ADL 向上のための運動機能に焦点をあてたケア、毎日の楽しみづくりのためにご本人の嗜好に添ったおやつを提示し、笑顔で召し上がっている姿を毎月送付している家族の手紙に同封する等、担当スタッフが考案した様々なケースをチームで共有することができた。

(4)「チームワークの向上と ICT の活用を通じて職場環境の改善を図る」

介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、3 月より 10 台のシルエット見守りセンサーを導入。転倒・転落リスクのある方に使用することで夜勤スタッフの負担が軽減され、

必要に応じた対応が可能となった。また、ベッドからの転落リスクがある方でも画像で状態を確認できるため、起き上がって一人で自由な時間を過ごしていただくことも可能となった。

リフレッシュ休暇8日間は、対象職員全員が計画的に長期休暇を取得することができた。

(5)「適正収益の確保」

特養事業の目標98%（目標介護保険収入105,710,000円）に対し実績は、退居から新規入居までの空床延べ日数が183日とベッドコントロールが適正に実施できず、稼働率95.4%（103,031,800円）で、2,678,200円の減収となった。

新たな加算として口腔衛生管理加算を取得することができた。

2. 展望（次年度に向けて）

令和6年度は、令和5年度と同じ重点目標をかかげ、確実に実施できるよう具体的な計画を立て取り組む。

ケアについては基本のダブルチェックを継続するとともに、カンファレンスを更に強化し特変の早期発見と改善につなげる。また、平穏で楽しみや喜びのある暮らしづくりとして、毎日のレク活動と行事の充実、地域との交流を図る。

働きやすい職場づくりとして、ICT、IOT化の活用を通じケアの質の向上と職員の業務負担の軽減および業務の効率化を推進し生産性の向上を図る。連続休暇はリフレッシュ休暇8日間と3連休の計画的取得を継続する。

適正収益の確保では、退居から新規入居までを7日以内とし、目標稼働率98%（目標介護保険収入107,391,000円）を達成する。未然に防げる事故を減少させ、再発リスクの高い疾患のあるご入居者への予防的ケアの実践により目標入院延べ日数50日以内とする。

3. 運営状況・統計資料報告

(1) 業績報告

①ベッド稼働率

目標ベッド稼働率 (A)	実際ベッド稼働率 (B)	達成率(B)/(A)×100
98.0%	95.4%	97.3%

②延べ入居者数 (単位：人)

目標延べ入居者数 (A)	実際延べ入居者数 (B)	達成率(B)/(A)×100
7,174	6,981	97.3%

③事業収入(単位：千円)

目標収入 (A)	実際収入 (B)	達成率(B)/(A)×100
105,710	103,032	97.5%

(2) ボランティアの受け入れ

①ボランティア受け入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1
延人数	0	0	6	0	0	0	2	0	12	0	12	8	14

②ボランティア協力団体一覧

団体名	活動・協力内容
ぬくもり友の会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除雪 ・ 花壇整備
絵画サークル虹の会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵画展示

(3) 外出・外泊・面会状況

年月	面会延べ人数(名)	外出回数 (回)	外泊回数 (回)
令和5年4月	9	0	0
5月	13	0	0
6月	7	0	0
7月	20	0	0
8月	13	0	0

9月	17	0	0
10月	17	0	0
11月	13	2	0
12月	12	0	0
令和6年1月	16	0	0
2月	48	0	0
3月	61	0	0
合計	246	2	0

※窓越し面会は数に含まず

(4) 行事

日 時	行 事 名	場 所
令和5年5月1日	えん開設記念日	そら・はなりビング
令和5年5月14日	母の日	そら・はなりビング
令和5年6月10日	花壇整備	えん庭
令和5年6月18日	父の日	そら・はなりビング
令和5年7月9日	さつき祭	さつき苑駐車場
令和5年7月28日	焼肉際	そら・はなりビング
令和5年8月4日	北野神社祭	えん駐車場
令和5年8月7日	夕涼み会	えん駐車場
令和5年9月18日	敬老祝い	そら・はなりビング
令和5年10月9日	味覚祭	そら・はなりビング
令和5年10月23～25日	りんご湯	浴室
令和5年11月24日	新そば祭り	そら・はなりビング
令和5年12月24日	クリスマス会	そら・はなりビング

令和5年12月28日	忘年会	そら・はなリビング
令和5年12月21～23日	ゆず湯	浴室
令和6年1月1日	書初め	そら・はなリビング
令和6年2月3日	豆まき	はなリビング
令和6年3月3日	ひな祭り	廊下

(5) リーダー会議（計9回）

月日	議題内容	参加人数
令和5年4月19日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（なし）・スタッフマネジメント	9名
令和5年5月24日	・コロナ蔓延により、会議未実施。書面にて周知。	0名
令和5年6月21日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項(看板修正について)・スタッフマネジメント	11名
令和5年7月19日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（なし）・スタッフマネジメント	10名
令和5年8月23日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（なし）・スタッフマネジメント	10名
令和5年9月20日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（環境について、入居者、利用者の生活歴、職歴、趣味嗜好特技、既往歴、現病歴などの状況共有とほのぼのの活用について）・スタッフマネジメント	11名
令和5年10月18日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（オペレーションについて）・スタッフマネジメント	11名
令和5年11月22日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（次年度事業計画策定について案内）・スタッフマネジメント	11名

令和5年12月22日	・令和5年度事業計画策定会議	8名
令和6年1月24日	・コロナウイルス蔓延により、会議未実施。書面にて周知。	0名
令和6年2月21日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（環境整備について）・スタッフマネジメント	9名
令和6年3月20日	・ケースカンファレンス・褥瘡発症者の経過・栄養状況の悪い方・抑制廃止の取り組み・苦情について・事故報告について・行事出張について・各事業所の実績報告・その他の検討事項（WJU見学会について、リーダー会議について）・スタッフマネジメント	9名

(6) 特養会議（計11回）

月 日	議題内容	参加人数
令和5年4月3日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開について・その他(加湿器について、衣替えについて)	11名
令和5年5月8日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開・その他(満足度調査の結果について、キックオフミーティング)	9名
令和5年6月12日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開・その他(食中毒予防研修)	12名
令和5年7月3日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開その他(スタッフ別事業所ヘルプについて、エンボス手袋について)	12名
令和5年8月10日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開その他(ターミナル研修について)	10名
令和5年9月4日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開その他(口腔ケアの必要性について、入居者担当の変更について)	11名

令和5年10月9日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開、その他（感染予防研修、入居者担当について、加湿器使用開始時期について）	11名
令和5年11月6日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開、その他（勤務総時間数について、単独外出防止方法について）	11名
令和5年12月4日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開、その他（マナーモラル研修、活動計画アンケートについて、勤務総時間数について、休憩場所について）	10名
令和6年1月9日	コロナウイルス蔓延により、会議未実施。書面にて周知。	0名
令和6年2月5日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開、その他（入居者担当について、各ユニット新体制について）	11名
令和6年3月4日	・ケアカンファレンス・褥瘡発症者及びハイリスク者・栄養マネジメント・抑制廃止の取り組み・本人家族からの要望苦情・事故の検討・各委員会からの報告・マナーモラルについて・活動計画について・介護過程の展開その他（虐待予防研修、オペレーションについて、シルエット見守りセンサーについて）	11名

(7) 給食会議（計11回）

月日	議題内容	参加人数
令和5年4月20日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他（小規模への依頼について）	7名
令和5年5月18日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他（食中毒予防研修実施案内について、スタッフ退職について、間接業務のルールなどについて）	6名
令和5年6月15日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他（食中毒予防研修、朝食の調理員の欠員補充について）	7名

令和5年7月20日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(朝食の調理員の欠員補充について、スタッフ勤続10年表彰実施)	8名
令和5年8月17日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(スタッフの業務フォローについて、使用物品の商品変更について)	8名
令和5年9月21日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(スポンジの使用評価について)	7名
令和5年10月19日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(入居者の残食について、炊飯のスイッチが入っていなかった件について、生ゴミバケツの置き場の変更について)	7名
令和5年11月16日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(調理場の年末掃除について)	9名
令和5年12月21日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(忘年会について)	7名
令和6年1月20日	・コロナ蔓延により、会議未実施。書面にて周知。	0名
令和6年2月15日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(なし)	7名
令和6年3月6日	・利用者について・必要な調理器具について・システムについて・献立等について・衛生面について・行事・その他(なし)	8名

(8) 入院状況

病院名	診療科目	症状・病名	入院日	退院日	日数
旭川赤十字病院	SCU	尿管結石・胆石・胆嚢炎	5月2日	5月15日	12
旭川赤十字病院	泌尿器科	左腎尿管結石	6月13日	6月21日	7
旭川赤十字病院	SCU	胆石・胆嚢炎	7月18日	8月20日	33
大雪病院	整形外科	左 THA	10月10日	11月2日	22
医療センター	消化器内科	貧血	10月12日	12月16日	65
市立病院	皮膚科	類天疱瘡	11月29日	12月16日	17
					156

(9) 通院状況

病院名	診療科目	計 (人)	病院名	診療科目	計 (人)
浅井医院	内科	8	森山メモリアル病院	リハビリ科	3
旭川赤十字病院	口腔外科	1		整形外科	12
	泌尿器科	2	大雪病院	整形外科	3
市立旭川病院	総合内科	3	高桑整形外科永山CL	整形外科	2
	婦人科	4	たかはし整形外科CL	整形外科	1
	皮膚科	13	片山整形リウマチ科CL	リウマチ科	3
旭川医療センター	神経内科	3	もとまち皮膚科CL	皮膚科	2
	消化器内科	5	永山腎泌尿器科CL	泌尿器科	4
	循環器内科	1	なかの呼吸器内科CL	呼吸器内科	5
圭泉会病院	精神科	3	林歯科医院	歯科	61
森山病院	整形外科	16	クリア歯科	歯科	6
	救急外来	1			

令和5年度 小規模多機能ホームぬくもりの家えん事業報告

1. 総括

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』を基本方針とし、昨年同様①感染症対策を継続し、コロナ禍でも充実した小規模多機能サービスを提供する②ICT・IOTの活用により、ケアの質の向上および職場環境の改善を図る③適正利益の確保の3つを重点目標として取り組んだ。

①では、基本的な手洗い・うがいの励行、1時間毎の換気および消毒対応を徹底し、日々の体調観察を継続することで小規模内での集団感染ゼロは達成できた。しかし、特養入居者や小規模利用者を含めたサ高住入居者の感染流行により、通いや泊まりの受け入れを中止した期間があった。コロナウィルス感染症が5類扱いとなり、社会の感染症に対する認識も軽くなりつつあるが、習慣として根付いた感染症への予防意識が薄らぐことのないよう、スタッフをはじめ利用者や同居家族に対する注意喚起を定期的に行う。

昨年度は少しずつコロナ前に楽しめていた行事の再開をすすめていたが、今年度も花見や買い物ツアー、焼き肉昼食会等の外出行事を実施することができた。ボランティアの協力を得るまでには至らなかったため、次年度はボランティアの再開や地域住民との交流も楽しむことのできるようすすめる。

②では、ICTの導入により医療連携や他サービス事業所への情報提供を正確かつ速やかに行うことができ、業務の効率化につながっている。この1年で訪問件数が急速に伸び、訪問時のバイタルデータや記録の入力時間が確保できないことも増えているため、訪問中に使用できる機材を検討する等、より一層の業務の効率化を図る。

事故に関しては「昨年度より事故件数20%減少」と「薬に関する事故を30%減少」を目標に取り組んだが、結果は昨年度の事故件数18件を大幅に超え35件となった。中でも転倒・服薬に関する事故が大半を占めており、転倒に関しては骨折・入院につながってしまったケースもあった。利用者の動きの予測と、動きに合わせた環境の整備が不十分だったことが事故増加の要因であり、次年度に活かす。

薬の事故に関しては、9件から14件に増加。対応について日々のミーティングや会議の中で周知徹底しているが、同様の事故を何度も繰り返しているため、訪問内容の整理やチェックリストを作成する等して事故につながる要因を未然に取り除き、事故件数の減少を目指す。

③の適正利益確保については、目標平均登録者数を23.5名としたが、平均登録者数20.8名と目標には及ばず。介護保険事業収入は59,780,924円（前年比92.1%）と、昨年を大幅に下回っている。

新規利用者は7名で、全て法人居宅および地域包括支援センターからの紹介だった。その中でも、今まで一度もサービスを使ったことのない4名の方が利用につながったことは、スタッフの対応含め新規利用者の受け入れ体制が機能した結果だった。

停止者6名のうち3名は併設の地域密着型特養へ入居することができ、慣れた場所・慣れたスタッフがいる中で混乱なく移り住むことができた。今後も居宅・医療機関等と連携を図りながら、新規利用者および待機登録者の確保に努める。

その他働きやすい職場づくりの取り組みでは、前年度同様リフレッシュ休暇（8日間）と3連休の取得を計画・実施することができた。退職者が1名出ているが、事業所間の協力を得ながら乗り越えることができた。

2. 次年度に向けて

令和6年度も『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』を基本方針に、引き続き新型コロナウイルス等の感染症予防に取り組み、集団感染ゼロを目指す。また、介護過程の展開に取り組み、利用者のみならずスタッフもやりがいや達成感、楽しみを感じられる暮らしづくりに努める。

引き続きICTを活用した職場環境改善を図り、楽しくやりがいを持って働くことのできる職場づくりを目指す。

適正利益確保のため、引き続き平均登録者数23.5名を目標に掲げる。待機登録者を増やし、停止者・終了者が出てもスムーズな受け入れができるよう、待機登録者の状況把握を行うことで登録の空きを最小限にし、安定した運営につなげる。必要に応じて区分変更も積極的に勧めていく。地域ケア会議等で法人居宅や包括支援センター、法人ヘルパーステーションとの情報共有を密にするとともに、旭川市内の病院や老人保健施設の相談室への営業活動も計画的に行う。

3. 運営状況・統計資料

<事業活動の統計・データ>

(1) 小規模多機能ホーム会議開催状況

月 日	議 題 内 容	出席者
4月5日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・医療関係・マナーモラル	7名
5月10日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・家族からの要望・個人の嚙下体操について	7名
6月14日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・家族からの要望・年間行事計画について	7名
7月5日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・医療関係・脱水について	8名
8月9日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・家族からの要望・体重測定について	8名

9月6日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・医療関係・ご利用者への対応・制服の取り扱いについて	9名
10月4日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・医療関係・新人、異動職員の担当・車両の運転について	9名
11月7日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・医療関係・インフルエンザ予防接種について	8名
12月6日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・ヒートショック・感染症のワクチンについて	8名
1月10日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・事故の検討・インフルエンザについて・体重の増減について	8名
2月7日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・医療関係・感染症予防・新規利用者獲得について	9名
3月6日	ケースカンファレンス・レクリエーションについて・医療関係・体重の増減後の再測定について・挨拶の仕方について	8名

(2) 小規模多機能ホーム行事活動報告

月 日	行 事 名	場 所
5月1日	開設記念日	てくてく
4月27～29日	花見	花咲公園
6月10日	花壇整備	えん花壇
6月17日	円山幼稚園運動会応援	円山幼稚園グラウンド
7月9日	さつき祭	さつき苑前庭
7月28日	焼肉会	てくてく
8月4日	北野神社祭、獅子舞見学	えん駐車場
8月8～10日	えんまつり	てくてく
9月18～22日	買い物ツアー	イオンモール旭川西店
10月9日	収穫祭	小規模リビング
10月23～25日	りんご湯	小規模浴室
12月21～23日	ゆず湯	小規模浴室
12月25日	クリスマス会	てくてく
12月28日	忘年会	てくてく
1月4～5日	初詣	鷹栖神社
2月3日	節分	小規模リビング
3月2～4日	ひなまつり	小規模リビング
3月12～15日	さくら湯	小規模浴室

令和5年度 サービス付き高齢者向け住宅ぬくもりの家たかほ 事業報告

1. 総括（今年度の取り組みの成果）

「良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る」を基本方針に取り組んだ。

入居者のADL・QOLの向上については、平均要介護度は毎年改善しており、昨年度1.12に対し今年度は1.06だった。あったかす体操・たかほ職員によるボランティアでの体操教室・支援員による昼食前の短時間の体操と嚥下体操が継続できている効果と考える。また、入居者の61%にあたる11名が併設のフィットネス倶楽部を継続利用出来ていることも要因の一つと考える。

事故については、昨年度8件に対し10件と増加。全て単独で転倒が50%を占めた。その内、転倒による骨折が2件あり、入院が必要な骨折では無かったが、痛みにより日常生活に支障があった。室内環境や福祉用具の活用等の見直しを行っていく。また、単独外出も2件あり、直ぐに発見が出来たため体調変化等は無かったが、重大事故と捉える。単独外出前の入居者の状態把握と予測が不足していた。今後も、入居者の状態把握と情報共有で事故を防いでいく。

新型コロナウイルス感染症予防として、全入居者の検温、館内消毒及び、出入りする業者を含めた来訪者と全スタッフへの手洗い・うがい、手指消毒、体調管理に努めた。しかし、新型コロナウイルスに11月、令和6年1月と感染。11月には7名感染しクラスターとなった。令和6年1月は1名に止まった。今後も、感染拡大しないよう体調確認と衛生管理を行っていききたい。

入院については年間の延べ入院者数は7名以内、年間入院延べ日数を150日以内とすることを目標に取り組んだ。延べ入院者数は年間で7名（昨年6名）で、年間入院延べ日数は112日（昨年176日）と目標は達成出来た。

退去者については昨年度2名だったが、今年度は長期入院、施設入居による3名だった。今後も体調管理とADL維持・環境整備を行い、各サービスとかかりつけ医との情報共有・連携し在宅生活継続できるよう支援していく。

今年度も懇談会を年2回開催し、職員とご家族との意見交換とたかほの運営への協同として、館内清掃とプランター植えを入居者と一緒に実施した。

入居者の楽しみづくりとして、季節の創作物、あったかす体操指導士の協力を得て実施した「たかほリンピック（ゲーム）」や、花火の会、北野サロンでの創作物の展示などを行った。また、地域の協力を得ながら4年ぶりに開催された行事が多く、入居者の新しい楽しみづくりに繋がった。なかでも、「ほろ酔いマルシェ出張版」と題して北野サロン運営委員による夕食会、ぬくもりの家えんで実施された「地域居酒屋」、七夕の風物詩「ろうそくだせ」と、地域の方々や子ども達との交流も楽しむことが出来た。

認知症総合支援事業として昨年に引き続き「認知症カフェ（デコぼん茶屋）」の委託を受けた。「認知症カフェ」については、入居者の新型コロナウイルス感染から1回中止と

なったが、11回開催することが出来た。地域の方の得意とすることを、一緒に創作することで表出の場や役割づくりを行えた。また、介護の相談の場面もあり、より多くの方々の参加できる工夫を検討していきたい。

「ちょっと大丈夫かな食堂」については、鷹栖町社会福祉協議会と共同し、地域住民と共に計画したが、開催にまで至らなかった。たかほ入居者の役割や達成感を感じて頂けるよう計画していきたい。

地域貢献を目的に、地域住民を対象に昼食弁当を計画し、外出機会・他者との交流機会のきっかけづくりとして、週3回、1日7食限定で実施した。町内会長・児童民生委員に事業目的の説明と周知により述べ7家族の登録があった。しかし、外出機会が出来たとのことで定期的な利用は2家族となっている。

また、認知症予防としては、今年度より、たかほ入居者に学習療法を開始した。入居者9名に対し、地域住民の学習療法サポーター9名が対応した。

入居者実施数は延べ408回、サポーター回数は延べ208回だった。双方ともに達成感と楽しみを感じ、実施されていた。

適正利益の確保については、平均稼働率は98.6%と目標の97%を達成した。待機登録者は最大で8名いたが、保留の返答者も多かった。入居申込者への定期的な状況確認と意向確認を実施し並行して、継続したPR活動を行っていく必要性を感じた。

2. 展望（次年度に向けて）

次年度に向けては、自立した生活が継続出来るよう、今年度同様 ADL・IADL・QOL の維持向上に努める。入居者が安心して長く暮らせる住宅としての機能を維持できるよう、必要なサービスを細かく見極め、迅速な対応を心がける。

楽しみ・役割のある暮らしづくりとして、地域住民やサロンと連携しながら、個々の能力や興味のある事柄を見定めて活躍の場を提供する。また、町内会との行事の計画、サロンへの作品展示も継続する。

健康管理においては、継続した体調管理と変化に気づける視点を持ち、他事業所との連携を密にしながら入居者個々の健康面のサポート強化に努める。

事故に関しては骨折に至る事故ゼロを目指し、身体機能維持に向けた運動機会の確保とフィットネスクラブの新規登録者数の増加と継続を目指す。また、訪問リハビリや、福祉用具専門相談員、法人PTの協力を得ながら個々の生活環境の見直しを適宜行いたい。

地域貢献として、昼食弁当は1日7食だったが、実際の利用は2食に止まっているため、より多くの住民に活用していただきフレイル予防としていきたい。

また、学習療法は、たかほ入居者に加え地域住民へ周知・実施し、認知症進行予防を行っていく。

適正利益の確保については、安定した待機登録者の確保と、次期入居者への打診を迅速に行うことにより空室期間の短縮を目指す。入居者確保のため、地域包括支援センター及

び居宅介護支援事業所への営業活動を計画的に実施し、18名の入居を必達・維持することを目標とする（目標稼働率97%、17.5戸）。

3. 運営状況・統計資料

(1) 業績報告

①入居率

目標入居率 (A)	実際入居率 (B)	達成率(B)/(A)×100
94%	98.6%	104.9%

②事業収入

目標収入 (A)	実際収入 (B)	差異(B)-(A)
25,095,000円	26,401,912円	1,306,912円

(2) 行事

日時	行事名	場所
令和5年4月10日	北野サロン展示物創作	食堂
令和5年6月11日	家族懇親会& 窓拭き清掃・花壇整備	食堂&館内・たかほ花壇
令和5年5月28日	町内会花植え	町内会花壇
令和5年8月4日	きたの de 縁日&北野獅子舞観覧	Da マルシェ駐車場
令和5年8月4日	七夕&花火の会	たかほ駐車場
令和5年8月7日	ろうそくだせ	あえーる
令和5年8月12日	ほろ酔いマルシェ出張版	あえーる
令和5年8月30日	焼き肉の会	あえーる
令和5年9月2日	地域居酒屋	ぬくもりの家えん 地域交流スペース
令和5年9月22日	お月見お茶会	食堂
令和5年10月17日	北野サロン行事 笑いヨガに参加	北野住民センター

令和5年12月25日	クリスマス会	食堂
令和5年12月25・27日	しめ縄飾りづくり	食堂
令和6年1月17日	サロン展示物 グラスペイント作成	食堂
令和6年2月7日	ケーキ作り&100歳を祝う会	あえーる&食堂
令和6年2月13日	旭川市立大学生と サロン展示物創作	食堂
令和6年2月3日	豆まき	各居室・館内

(3) たかほ会議 (計12回)

月 日	議題内容	参加人数
令和5年4月12日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況 事業活動計画進捗状況 (今年度の活動計画書配布) 設備管理対応 (自動ドア・エレベーター保守点検・施錠できなく鍵穴クリーニングで改善) 今月、来月の予定 (家族懇親会開催・くもん学習療法について) 	2名
令和5年5月10日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況 (新規入居者等) 事業活動計画進捗状況 設備管理 (電気保安点検・あえーるテラス日よけ破損) 今月、来月の予定 (学習療法・コロナ5類変更後の対応・支援コーディネーター出張) 	3名
令和5年6月21日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況 事業活動計画進捗状況 設備管理 (あえーるテラス日よけ破損修繕) 今月、来月の予定 (学習療法・入居者の役割・配食弁当について) 	4名
令和5年7月12日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況 事業活動計画進捗状況 設備管理 今月、来月の予定 (花火の会・ほろ酔いマルシェ出張版・焼き肉の会について) 	3名
令和5年8月9日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況 事業活動計画進捗状況 設備管理 今月、来月の予定 (焼き肉の会・たかほボランティア活動について・昼食弁当周知・入居者の役割等について) 	4名
令和5年9月13日	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況 事業活動計画進捗状況 	3名

	<ul style="list-style-type: none"> ・設備管理 ・今月、来月の予定（くもん学習療法・配食弁当・入居者の役割作りについて） 	
令和5年10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状況 ・事業活動計画進捗状況 ・設備管理（事務所フィットネス側扉修繕・居室 FF ストープエラーメッセージ部品交換） ・今月、来月の予定（くもん学習療法サポーター養成講座・配食弁当・入居者の役割作りについて） 	3名
令和5年11月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状況 ・事業活動計画進捗状況 ・設備管理（居室 FF ストープエラーメッセージ部品交換） ・今月、来月の予定（新規入居者について・学習療法・昼食弁当は調理員コロナ陽性時には休止・入居者の役割作りについて） 	3名
令和5年12月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状況 ・事業活動計画進捗状況 ・設備管理（居室 FF ストープエラーメッセージ部品交換） ・今月、来月の予定（学習療法・昼食弁当について） 	2名
令和6年1月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状況 ・事業活動計画進捗状況 ・設備管理 ・今月、来月の予定 	3名
令和6年2月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状況 ・事業活動計画進捗状況 ・設備管理（コレカラエアコン故障について） ・今月、来月の予定（学習療法・昼食弁当・北野サロン役割つくりでサロン展示物作成について） 	3名
令和6年3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の状況 ・事業活動計画進捗状況 ・設備管理（居室 FF ストープエラーメッセージ部品交換） ・今月、来月の予定（学習療法・昼食弁当・サロン展示物について） 	4名

令和5年度鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑事業報告

1. 総括(今年度の取り組みの成果)

令和5年度も「良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る」の基本方針に重点をおき取り組んだ。

「良いケア」では利用者のケア向上のため個々のニーズに合わせた支援の中、共に行う支援内容を考えケアの見直しを提案・訪問介護計画書に盛り込み支援していくことで、利用者への自立支援を確実に実践していくことができた。また、新規利用時には訪問介護計画書を滞ることなく作成できた。月に一度の会議内で困難事例に関して意見を出し合うこと、ミニ研修を通しサービスの提供方法の統一を図ることで、利用者への自立支援の大切さをヘルパー各自が理解しサービス提供に活かした。

「良い職場」では、ICTの使用法の更なる効率化、長期休暇の取得を行い働きやすい職場作りに取り組んだ。

「よい経営をみんなの力で創る」では、前年度に引き続き同法人の居宅介護支援事業所は勿論のこと、同町、近隣市の地域包括支援センターとの連携強化の継続を図ることができた。

今年度の満足度調査ではご利用者の99%から、全ての項目で「良い」「概ねよい」との回答をいただいた。利用者・家族との信頼関係を十分に築くことができていたものと捉えたい。

コロナ感染対策では、やはり昨年同様に食事会の開催は控え、茶話会でも飲食を行わない対応を継続した。また、訪問時の感染予防対策を継続し努めたことで、利用者・職員の双方がサービス提供時に安心を得ることができた。

今年度の大きな反省点としては事故の件数増で物品破損が多くあった。また降雪の多さ、悪天候からの車両事故、車輛の破損も続いた。どちらも注意力、危険予知能力等の不足が大きいと考えられるため、次年度では、研修も取り入れ改善策を図りたい。

業績については、年間訪問件数が令和4年度は9,980件、令和5年度は10,335件と件数増ではあったが、目標より355件少なく達成はできなかった。新規利用者数では令和4年度が24名に対し、令和5年度も職員不足から新規受け入れを見合わせていたものの、結果32名の新規利用へと繋がった。だが休止者・停止者も多く件数の伸びには大きく結びつかなかった。次年度も茶話会でのヘルパー周知活動および、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携強化により努める。

2. 展望(次年度に向けて)

令和6年度も、「良いケア、良い職場、よい経営をみんなの力で創る」ことを目標に掲げ、「良いケア」では、自分たちの知識と技術をしっかりと日々のケアに活かしながら、利用者主体である自立支援を継続的に展開していく。

「良い職場」では、お互いを認め・補い合いチームとして成長していくことは基より、仕事に責任と自主性を持つことで活気ある職場作りを目指したい。また働きやすい環境の中リフレッシュ

ユ休暇 8 日間取得を目指す。

「よい経営をみんなの力で創る」ため、ICT を活用しながら、ケア・サービスの向上を図り「よい経営」を継続し安定した利用者の確保と、適正収益が得られるように次年度も更に努めていく。

3. 運営状況・統計資料

(1) 業績

(単位 千円)

目標収益 (A)	実際収益 (B)	達成率 (B)/(A)×100	前年度収入 (C)	伸長率 (B)/(C)×100
39,431,000	37,514,780	95.1%	37,367,916	100.4%

(2) 茶話会開催状況

日程・地区	鷹栖地区	鷹栖地区	春光台
	令和 5 年 6 月 4 日	令和 5 年 6 月 4 日	令和 5 年 7 月 9 日
参加人数	15 名	6 名	4 名

(3) 長寿のお祝い開催状況

日程・地区	鷹栖町	旭川市
	令和 5 年 9 月 17 日	令和 5 年 9 月 17 日
参加人数	4 名	3 名

(4) ヘルパー研修開催状況

開催日	テーマ	講師	参加人数
令和 5 年 4 月 20 日	法令遵守・虐待予防	米澤	10 人
5 月 25 日	ミニ研修 (着脱の介助方法)	上野・伊藤	10 人
6 月 2 日	救急救命講習	消防	6 人
6 月 6 日	救急救命講習	消防	4 人
6 月 22 日	食中毒の予防研修	己上	9 人
7 月 20 日	緊急時対応、事故発見時対応	米澤	8 人
8 月 24 日	感染対策研修	能登	10 人
9 月 7 日 14 日	トランスファー研修 (中級)	大矢・大河原	7 人

9月7日14日	トランスファー研修（初級）	森・設楽	1人
9月21日	ミニ研修（麻痺ある方の歩行介助）	深瀬	9人
10月5日12日	食事ケア研修（中級・初級）	能登・米澤	8人
10月18日	感染症研修	藤川	10人
11月9日16日	排泄ケア研修（中級・初級）	室橋・林崎	10人
12月7日14日	認知症ケア研修（中級・初級）	松原・佐々木	10人
1月11日18日	医療研修（中級・初級）	谷水・藤川	8人

(5) 外部研修参加状況

開催日	内容	参加者
令和5年 4月22日・23日	第14回 全国先端ケア研究会オンライン	米澤
6月25日	在宅課カンファレンス	米澤
7月27日28日	令和5年度全道ホームヘルプサービス研究発表会	米澤・深瀬
9月30日	令和5年度多職種協同による自立支援と重度化対策・重度化 予防研修	米澤
11月18日	令和5年度多職種協同による自立支援と重度化対策・重度化 予防研修	米澤
11月19日	在宅課カンファレンス	米澤
令和6年 2月15日	セルフケアマネジメント	米澤
3月16日	令和5年度多職種協同による自立支援と重度化対策・重度化 予防研修	米澤
3月23日	ホームヘルプサービス協議会地区別資質向上研修	米澤・藤木

(6) ヘルパー会議開催状況

開催日	内容	参加者
令和4年 4月20日	① 業績報告・活動報告進捗状況・業務改善（令和5年度活動計画、 事業計画について、令和4年度活動報告、事業報告について）② ケースカンファレンス③事故報告（0件）④ご家族からの要望（1 件）苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	10名
5月25日	① 業績報告・活動報告進捗状況・業務改善（第1回、2回茶話会に ついて）②ケースカンファレンス③事故報告（3件）④ご本人か らの要望（1件）・苦情（1件）⑤その他（今月の目標・先月の評 価）	10名

6月22日	① 業績報告・活動報告進捗状況・業務改善（第1回、2回茶話会の報告、第3回茶話会について）②ケースカンファレンス③事故報告（2件）④ご本人からの要望（1件）・苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	9名
7月20日	① 業績報告・活動報告進捗状況・業務改善（第3回茶話会について）②ケースカンファレンス③事故報告（2件）④ご本人からの要望（0件）・苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	8人
8月24日	① 業績報告・活動報告進捗状況・業務改善（自立支援と過剰な支援、自尊心への配慮について）②ケースカンファレンス③事故報告（1件）④ご本人からの要望（1件）・苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	8人
9月21日	① 業績報告・活動報告進捗状況（長寿のお祝い報告）・高齢者虐待（日常の支援の中で気付かないうちに虐待になりうるケースについて）②ケースカンファレンス③事故報告（3件）④ご本人からの要望（1件）・苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	9人
10月26日	① 業績報告・活動報告進捗状況（感染症研修について）・高齢者虐待（日常の支援の中で気付かないうちに虐待になりうるケースについて）②ケースカンファレンス③事故報告（1件）④ご本人からの要望（1件）・苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	8人
11月22日	① 業績報告・活動報告進捗状況（感染症研修について）・高齢者虐待（日常の支援の中で気付かないうちに虐待になりうるケースについて）②ケースカンファレンス③事故報告（1件）④ご本人からの要望（1件）・苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	9人
12月21日	① 業績報告・活動報告進捗状況（感染症研修について）・高齢者虐待（日常の支援の中で気付かないうちに虐待になりうるケースについて）②ケースカンファレンス③事故報告（2件）④ご本人からの要望（1件）・苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	8人
令和6年 1月25日	① 業績報告・活動報告進捗状況（感染症研修について）・高齢者虐待（日常の支援の中で気付かないうちに虐待になりうるケースについて）②ケースカンファレンス③事故報告（3件）④ご本人からの要望（1件）・苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	8人

2月22日	① 業績報告・活動報告進捗状況（サービス向上発表会について）・高齢者虐待（日常の支援の中で気付かないうちに虐待になりうるケースについて）②ケースカンファレンス③事故報告（0件）④ご本人からの要望（0件）・苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	8人
3月21日	① 業績報告・活動報告進捗状況（全道ホームヘルプサービス研究発表会について）（資質向上研修の報告）・高齢者虐待（日常の支援の中で気付かないうちに虐待になりうるケースについて）②ケースカンファレンス③事故報告（0件）④ご本人からの要望（0件）・苦情（0件）⑤その他（今月の目標・先月の評価）	4人

(7) 事故発生状況

	令和3年	令和4年度	令和5年
私物破損	3件	4件	7件
訪問忘れ	0件	0件	1件
苦情	2件	3件	0件
救急搬送	0件	0件	0件
車両関係	3件	2件	3件
転倒など	1件	0件	5件
投薬忘れ	0件	0件	1件
死亡発見	0件	0件	0件
その他	0件	0件	2件
合計	9件	9件	19件

(8) 令和5年度私物破損・事故内容

発生日	内容	原因	対策
令和5年 5月1日	訪問中に利用者が一人でゴミ捨てに行き戻りもちをついた	重たいゴミを持ちバランスを崩した	一緒に付き添いゴミを持つ、支える介助を行う
5月8日	訪問中にヘルパーの身体の一部が接触し、食器棚のガラス扉を破損	狭い場所で作業を行った	スペースの確保を確認し作業を行う
5月15日	移乗動作時に足が滑り、床に座り込んだ。	利用者から離れた位置にいたため、介助で	必ず支えられる位置に立つ。移乗動作の妨げになる

		きなかった。フットサポートやアームサポート等を外さず車椅子の位置が不適切であった。	ものは取り外し、極力、利用者と車椅子の位置を近づける。
6月5日	朝の通常薬に臨時薬が添付されていたが、ホッチキス止めされていた袋を取り外し、臨時薬のみを投薬し、通常薬は投薬忘れした。	薬の介助を行う際の、いつどのような薬を服用しているかの確認が不足していた。	臨時薬がある際には、いつまで、どのような薬が何種類追加されているかを、薬の袋に貼り取り出す際に確認する。
6月12日	爪切り介助中に誤って右第2指の表皮を傷つけ出血した。	介助中の確認不足。	明るい状況の中で、確認を行いながら切る。深く切り過ぎないように注意する。
7月4日	浴室掃除の際、浴槽の栓を抜くためチェーン部分を掴み引いたところ、チェーンの途中で切れてしまった。	劣化している状態のチェーンの上部を引くことで負荷が掛かり切れてしまった。	栓とチェーンの繋いでいる部分を持って引く。
7月10日	退社時に駐車場からバックで車輦を出した際に、自転車に乗った子供に気づかず接触した。	バックミラーのみで確認し、左右後方の確認を怠った。	サイド、バックミラー及び、後方の確認は目視でも行い車輦を動かす。
8月21日	掃除の際に折り畳みラックを持ち上げたところ、劣化していた部分が取れる。	丁寧に扱わなかった。	物を移動する際には丁寧に扱う
9月11日	利用者宅で掃除中にカウンターに置かれていた貯金箱に、ぶつかり落下し破損させてしまう。	ご利用者が行う箇所をヘルパーが行い丁寧に扱いを怠り、不注意だった。	手の届く箇所の整理整頓は利用者本人が行えるよう、働きかけを行い、物の取り扱いには十分注意する。
9月15日	食後にテーブル下に落ちた物を拾おうとして、バランス崩し椅子から転落した。	テーブルとイスの距離が空いたまま食事をした。利用者の姿勢や安全の確認が不十	食事姿勢と安全の確認。食べこぼし等の対応、声かけを行う。

		分だった。	
9月21日	爪切り介助中に誤って右中指の表皮を傷つけ出血した。	声かけ、介助方法が不十分だった。	状態観察、声かけ、介助方法を周知、徹底する。
10月2日	掃除中に誤ってトイレ洗浄ブラシを、便器内に落としました。	汲み取り式であるにも関わらず、不注意でブラシの柄から手を離した。	支援中は集中、意識し作業を行う。柄に紐を付け手首に通し落下防止を図る。
12月18日	訪問忘れ	予定表の修正を行っている際に、誤って名前が消えていたが、キャンセルされていると思いこんだ。	訪問表での確認、キャンセルの有無の確認を当日の勤務者で、責任を持って行う。
12月25日	片付けてあった扇風機の汚れを拭こうとした際に、カバーのプラスチックの枠部分が固く、割れて落ちた。	劣化した部品に負荷がかかり破損した。	ご本人から依頼のないことや、季節に関連のない物の取り扱いは控える。決められた支援を優先し行う。
令和6年 1月2日	車輛のバンパー下が破損していた。	道路状況が悪く、路面と接触した衝撃で破損した。	路面状況が悪い時には、出来る限りゆっくりと、走り衝撃を抑える。
1月2日	包布交換中にファスナー部分が破損。	包布のサイズが小さめだったため、無理がかかり破損した。	サイズの合わない状態で無理に使用しない。
1月9日	入浴準備でヘルパーが離れていた間に、居室で尻もちをついていた。	事前に行う準備を、訪問中に離れて行ったため、支えることができなかった。	準備は事前に行い、必要時に見守りや介助が行えるようにする。
1月13日	車線変更時にハンドルを取られ、中央分離帯の雪山に乗り上げ、車輛が破損。	路面が滑りやすい状態で、轍もあり滑ってしまった。	道路状況を確認し、天候によっては、中道等の選択を行う。
1月23日	ゴミ出しにご自分で行き、足を滑らせ転倒した。	一緒に行かず、見守りを行わなかった。	ご利用者の状態を把握し、安全を確保しつつ支援を行うことを徹底する。

(9) 令和5年度苦情内容

発生日	内容	原因	改善状況
令和5年	0	0	0

(10) 訪問内容別活動時間

(単位 件数)

訪問内容	令和4年度月平均時間	令和5年度月平均時間
身体介護	179.2	487
生活援助	40.76	59
複合介護	122.8	201
介護予防訪問介護（独自Ⅰ）	144.1	140.3
介護予防訪問介護（独自Ⅱ）	117.5	81.8
介護予防訪問介護（独自Ⅲ）	22.2	18.9
私的契約	8.41	9

令和5年度 法人本部（給食部門）事業報告

1. 総括

令和5年度は『身体の状態に合わせた栄養のある食事の提供』『衛生管理の徹底と災害対策』『食を通じた住みよい町づくりへの貢献』『多職種との連携機能の強化』『予算に合わせた食事の提供』の5つを重点目標とし取り組んだ。

『身体の状態に合わせた栄養のある食事の提供』としては、特養えんにて、低栄養状態のリスクが高い入所者に対し「ミールラウンド」を実施し栄養状態や嗜好を踏まえた食事の調整をおこない、低栄養者の体調の改善ができるように取り組んだ。なごみの家（SH/GH）と小規模えんでは「口腔・栄養スクリーニング」を6ヶ月に1回実施し、「体重の減少」や「食事量の低下」の変化の情報を共有し改善へ向けて取り組むことができた。また「ほのぼの」の日々の記録を確認することで、入居者の詳細な状態や申し送りなど情報共有を円滑に行えた。食事面では、嗜好調査や日々の利用者とのコミュニケーションを図り、利用者の嗜好に沿った食事の提供に努め、満足感とQOLの向上に繋がるよう取り組んだ。今年度、嗜好調査でいただいた意見を参考に改善点を見直し、入居者様が楽しみにしていただけるような食事の提供に努める。

『衛生管理の徹底』では厨房内の点検、食中毒予防研修の実施、調理員との定期的な情報交換の実施により、安全で安心な食事提供を心がけ食中毒を起こすことなく提供することができた。また入居系事業所対象に非常災害時の食材備蓄の準備と管理を実施できたが、調理スタッフへの災害時の対応方法についての伝達ができなかったため、次年度に向けて取り組む。

『食を通じた住みよい町づくりへの貢献』では、今年度より「地域食堂」と「健康料理教室」を再開することで、地域住民への介護予防の取り組みを実施することができた。また、昨年度より開始した、ぬくもりの家たかほでの「配食弁当」も継続して提供し、地域の在宅高齢者の低栄養の予防・改善へのサポートを行うことができた。

『多職種との連携機能の強化』では、各事業所の会議への参加や、各担当者との打ち合わせによって情報を共有することができ、食事量の低下が見られる方へ迅速に対応することができた。

『予算に合わせた食事の提供』では、価格高騰化を考慮し、献立の変更や在庫の管理に努めたが、「給食食材費」については予算内に納めることができなかった。

2. 展望（次年度に向けて）

次年度は、次の3点を重点として事業に取り組む。

まず1つめは、健康料理教室の場所・内容を見直し、参加者の拡大を目指す。

2つめに、今年度実施できなかった、災害が発生したときに混乱なく食事の提供ができるよう現場用のマニュアルを作成し、調理スタッフへ周知できるように取り組んでいく。
3つめに、楽しみにしていただけの食事提供を目指しながらも、適正な予算管理に努める。

3. 運営状況・統計資料

令和5年度 手作りおやつ・手作り昼食などの利用者とのレクレーションは、コロナ感染リスクを考慮し中止とした。

4. 祝祭日の祝膳 年間実施回数

特養えん 行事食	小規模えん 行事食	なごみGH 行事食	なごみSH 行事食	たかほ 行事食
40回	40回	38回	38回	38回

5. 健康料理教室（地域における公益的な活動）

実施日	内容	献立	講師	参加人数
5/19	目指せ！サラサラ血液	黒豆ごはん きのこの味噌汁 さばの南蛮解け ナッツ入り白和え	己上	8名
7/21	肥満にならない 賢い食べ方	ほうれん草とトマトの キーマカレー オートミールドレッシングの グリーンサラダ バナナとベリーのスムージー	鈴木	10名
9月	未実施	参加者少数のため中止		
11月	未実施	たかほコロナ感染対応のため中止		
1/19	お酒と上手に付き合う	白菜と厚揚げの味噌グラタン 春菊とかぶのサラダ さばのリエットオープンサンド	鈴木	7名
3/15	備蓄食品の上手な使い方	ポリ袋で簡単オムライス 切干大根とツナの和え物 ひじきと大豆の煮物 簡単蒸しパン	己上	8名

6. 地域食堂（地域における公益的な活動）

	献立	提供食数	実施者
6/22	ひき肉のスタミナ丼 味噌汁 野菜サラダ パウンドケーキ	32食	己上 鈴木 住民協力者3名
7/27	豆乳冷やし担々麺 韓国風おにぎり 胡瓜の酢の物 レモンのマフィン	31食	己上 鈴木 住民協力者3名
8/24	スープカレー ライス 野菜サラダ アールグレイのパンナコッタ	17食	己上 鈴木 尾上 住民協力者1名 実習生1名
9/28	秋おこわ きのこの味噌汁 伏見卵 小松菜の胡麻和え お月見水饅頭	29食	己上 鈴木 住民協力者2名
10/26	新米ごはん 白菜と生姜のスープ 南瓜のコロッケ 胡瓜の酢の物 柿のムース	29食	己上 鈴木 住民協力者4名
11/30	五目ごはん 鮭の粕汁 卵豆腐 ヤーコンとりんごのサラダ スイートポテト	31食	己上 鈴木 住民協力者4名
12/15	豆乳担々麺 海鮮焼売 彩りサラダ チョコムース	16食	己上 鈴木 住民協力者2名
1月	実施なし		

2/21	ルーローハン 中華スープ 小松菜ともやしのナムル 台湾カステラ	13食	己上 鈴木 住民協力者3名
3/21	かき揚げ丼 具沢山味噌汁 冷奴 胡瓜の酢の物 桜のムース	33食	己上 鈴木 住民協力者3名